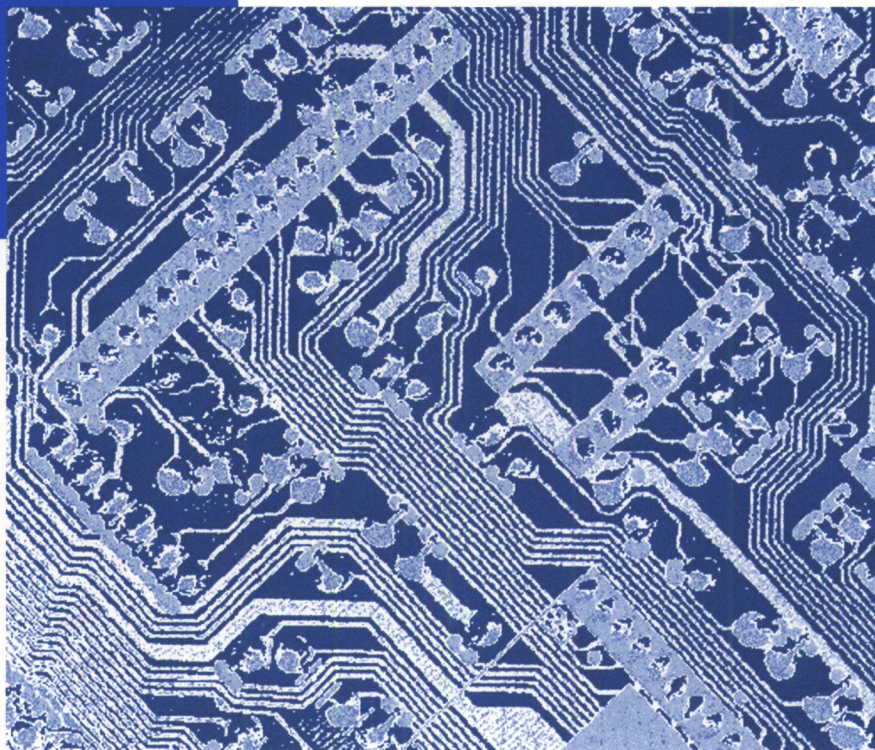
Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1060

ユーザーズガイド

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように、大切に保管して下さい。

はじめに

このたびはキヤノン　LASER SHOT LBP-1060をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書には本機の日常の取り扱いや基本的な機能の説明について記載してあります。
本機をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

この取扱説明書の中で⚠と表記されている事項は、安全にご使用いただくための注意です。
取扱説明書の指示を必ずお守りください。

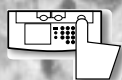
おことわり

機械の改良変更等により、本書の記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますので、ご了承ください。
本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りまたは記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書の構成

1 章　お使いになる前に

本体各部の名称とはたらき、電源の入れ方について記載しています。

2 章　メールボックスを活用する

メールボックスの使い方について記載しています。

3 章　プリントの状況を確認／変更する

プリント状況の確認や変更のしかたについて記載しています。

4 章　使いかたにあわせて仕様を設定する

本機の初期設定を、ご利用にあわせて登録、変更するしかたについて記載しています。

5 章　用紙／トナーを補給するには

用紙やトナーの補給のしかたについて記載しています。

6 章　トラブルが起きたときには

本体で紙づまりが起きたときや、プリントがきれいにできないときなどの対処のしかたについて記載しています。

7 章　オプションの取扱いについて

オプションの取扱いについて記載しています。
オプションで紙づまりが起きたときの対処のしかたについても記載しています。

8 章　付録

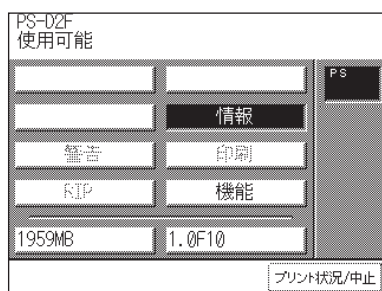
文字の入力方法、ローマ字入力表、JIS 漢字コード表などを記載しています。

こんなことができます

タッチパネルを使って

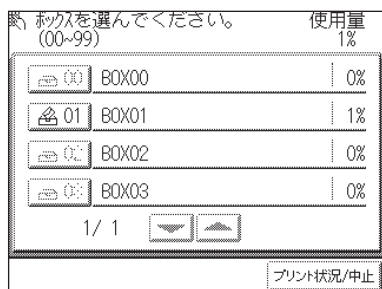
プリンタ設定画面

 キーを押すとプリンタ設定画面が表示されます。プリンタ設定画面では、本機の状態の確認、プリンタ機能の設定、エラーメッセージの表示、プリンタボードに送られたジョブの情報表示を行うことができます。

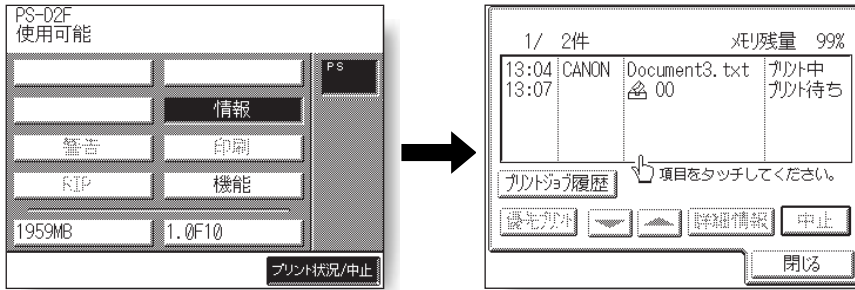
参考
●プリンタ設定画面の機能と説明については、別冊のプリンタボード取扱説明書をご覧ください。
●電源投入時はプリンタ設定画面が表示されます。

メールボックス選択画面

 キーを押すとメールボックス選択画面が表示されます。本機を使ってコンピュータからプリントする場合、メールボックスに一旦データを送ってから任意にプリントすることができます。
本機からプリントの操作を行うため、メールボックスに暗証番号を設定して他の人に内容を見られることなくプリントしたりすることができます。

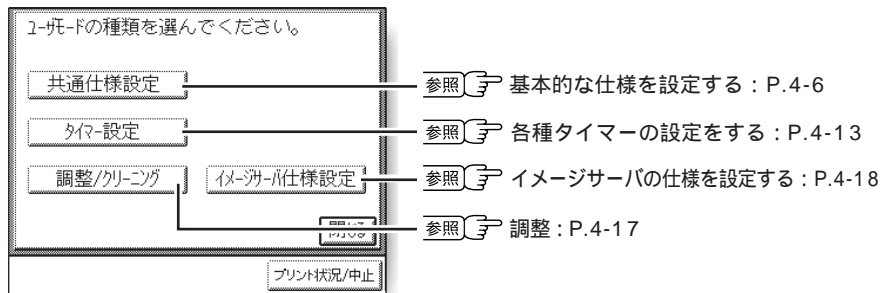
○それぞれのメールボックスには、最大１００件までの文書を保存することができます。

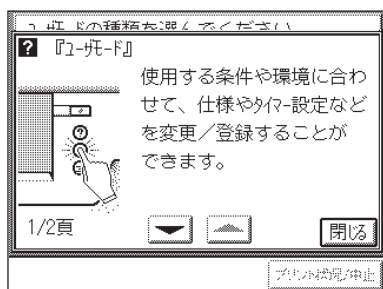
参考
●メールボックスの使い方については、本書の第２章「メールボックスを活用する」を参照してください。

プリント状況／中止画面

プリント状況／中止 の画面では、プリント文書の状況の確認や中止、優先プリントの指定を行うことができます。

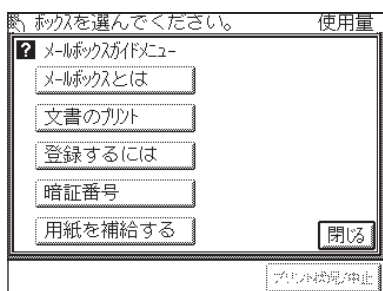
●機能と説明については、本書の第 3 章「プリントの状況を確認／変更する」を参照してください。

ユーザモード画面

ユーザモード
キーを押すとユーザモード画面が表示されます。ユーザモードでは、本機の初期状態を工場出荷時の状態から変更することができます。

●仕様の設定方法については、本書の第 4 章「使いかたにあわせて仕様を設定する」を参照してください。

ガイド画面

ガイドキーを押すと、本機をより有効に活用するためのガイド画面が表示されます。

機能別ガイド

ある機能の選択後ガイドキーを押すと、その機能の詳細が画面に表示されます。機能の内容を知りたいときなどに使用します。

例）ユーザモードの機能ガイド画面を表示させます。
ユーザモードキーを押したあとガイドキーを押すと、左のようにユーザモードの機能ガイド画面になります。［閉じる］を押すと、ユーザモード画面に戻ります。

目的別ガイド

メールボックス選択画面が表示されているときにガイドキーを押すと、左のようなメールボックスガイドメニューが表示されます。

目的に応じてキーを選択します。

例）メールボックスの文書をプリントしたいとき
［文書のプリント］を押します。

プリントに関する詳細を見ることができます。

目次

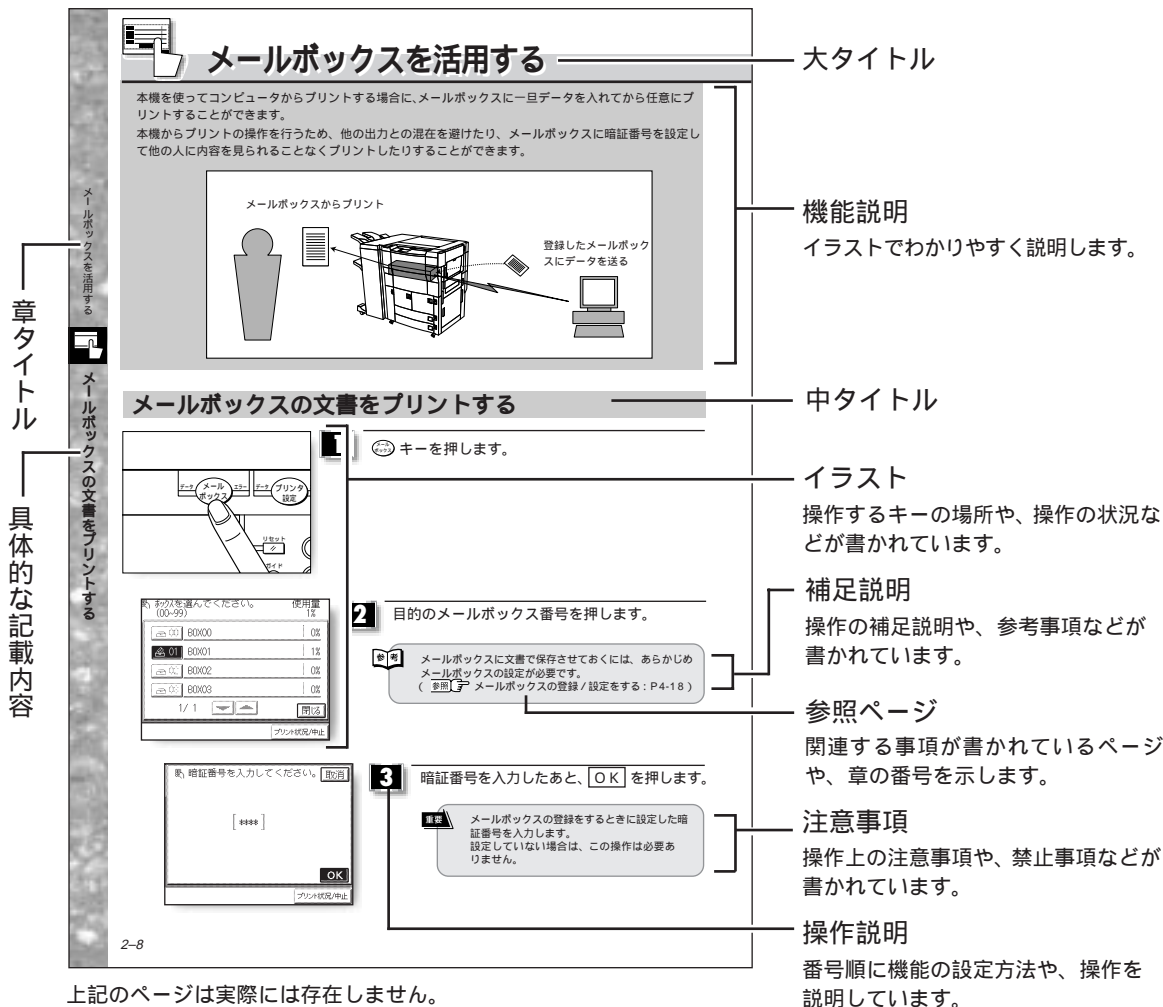
5章　用紙／トナーを補給するには

6章　トラブルが起きたときには

7章　オプションの取扱について

8章　付録

本書の使いかた

この取扱説明書は、次のような構成になっています。

上記のページは実際には存在しません。

この取扱説明書のマークについて

⚠警告 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い 操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

重要 操作上の重要事項や注意事項などが書かれています。誤った操作をしないために、必ずお読みください。

参考 操作の参考となることや補足事項が書かれています。お読みになることをおすすめします。

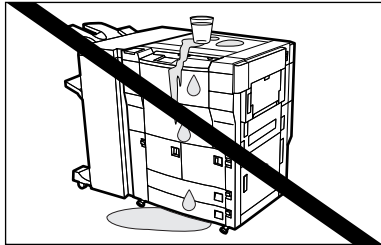
本書の中では、キー名称を以下のように表わしています。

操作パネル上のキー.................. (メールボックス) キー　　タッチパネル上のキー............. OK

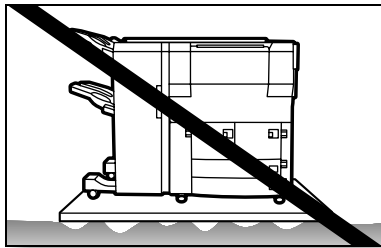
○特にお断りのない限り、本書で使われているタッチパネルの画面例、イラストはフィニッシャー・D1が装着されている場合のものです。オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本機のタッチパネルには表示されませんが、ご了承ください。

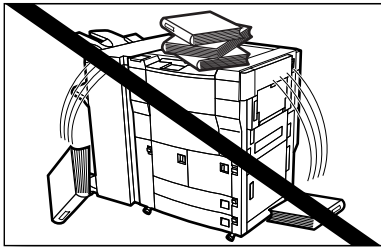
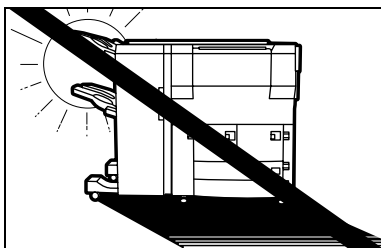
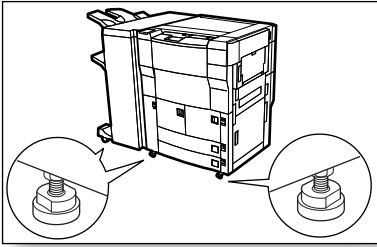
安全にお使いいただくために

設置について

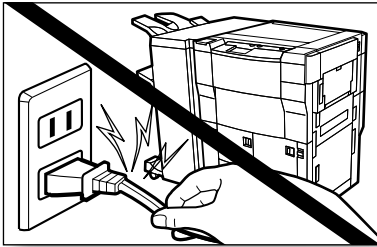
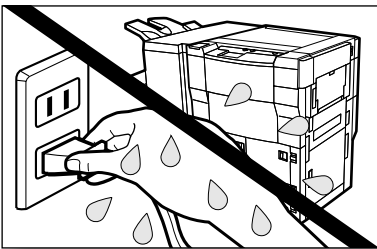
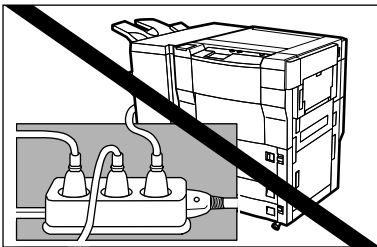
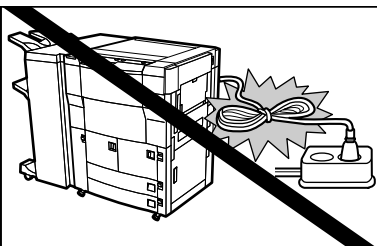
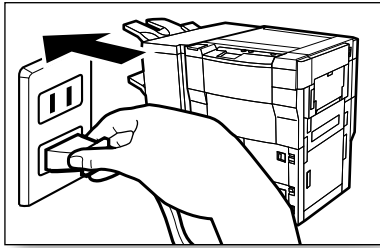
⚠警告

● アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

● 機器の上に次のような物を置かないでください。これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
・ネックレスなどの金属物
・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器
これらが機器内部に入った場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

⚠注意

● 傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。倒れたりして、けがの原因になることがあります。

● 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から 18cm 以上離してください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

● 機器の上に重い物をのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となることがあります。

● 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
・湿気やほこりの多い場所
・直射日光のあたる場所
・高温な場所
・火気に近い場所

● 設置したあとは、本体固定用のストッパは外さないでください。機器が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

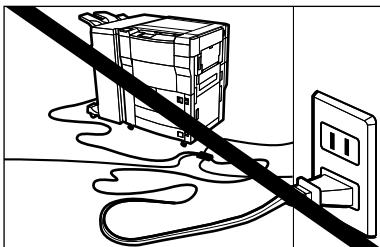
電源について

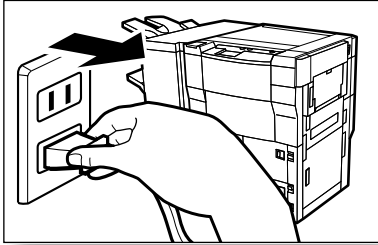
⚠警告

● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

● タコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。

● 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。

● 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

● アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してもよいもの]
・コンセントのアース端子
・接地工事（第 D 種）が行われているアース端子

[アース線を接続してはいけないもの]
・水道管：配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針：
落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

● 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になることがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

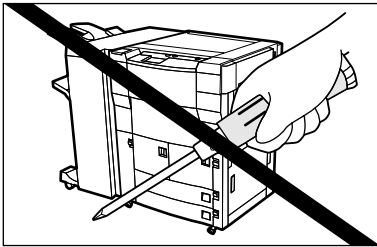
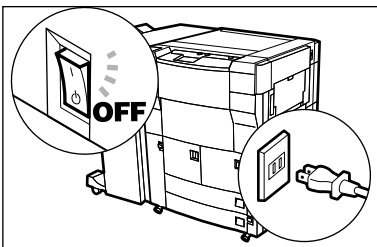
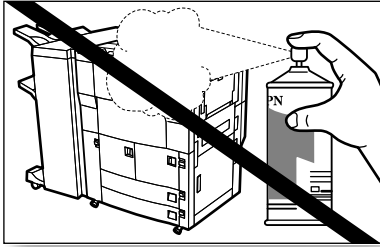
⚠注意

● AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

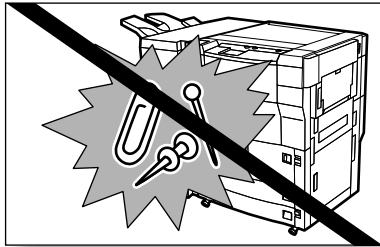
● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

● いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

● アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

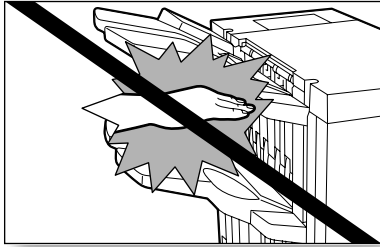
取扱いについて

⚠警告

● 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高温・高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。

● 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。
  スプレーのガスが機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

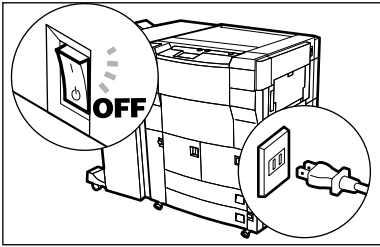
- 機器を移動させる場合は、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
  電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

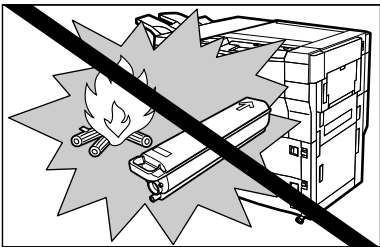
⚠注意

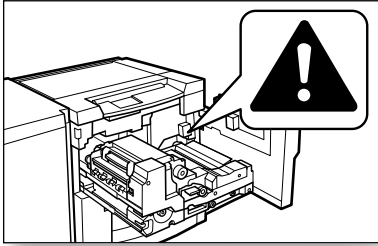
- プリント中は、フィニッシャのトレイに触れたりしないでください。フィニッシャのトレイはプリント中に位置が移動するため、けがの原因になることがあります。

- 本機を長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

● フィニッシャを装着しているときは、トレイ内のステイプルされる場所に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

保守/点検について

⚠警告

● 清掃のときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因になります。

● 清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

● 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

▲注意

● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。

● 機器内部には、定着器など高温、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、これらの部分に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

● 紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

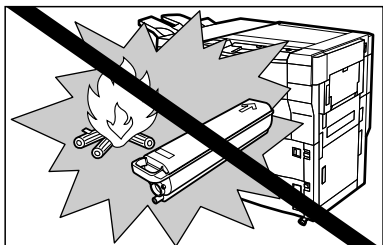
● 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、よごれがとれなくなることがあります。

● 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

● 用紙を補給するとき、紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

● 使用済みのトナーカートリッジを機器から取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

消耗品について

⚠警告

● トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

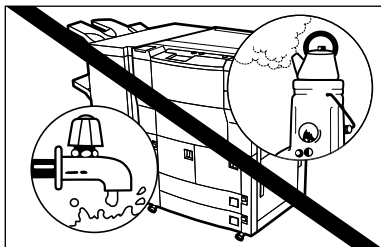
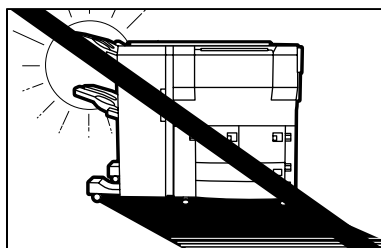
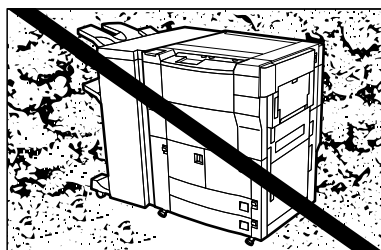
● トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

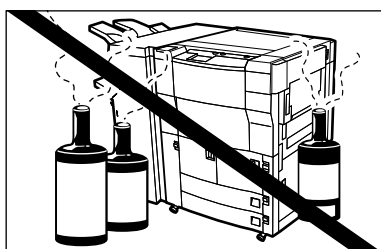
● トナーカートリッジを廃棄する場合は、カートリッジを袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、不燃ゴミとして処理してください。

⚠注意

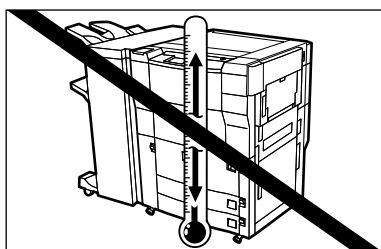
● トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

設置場所のご注意

次のような場所への設置は避けてください

■ **低温、低湿または高温、高湿の場所**
水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。

■ **直射日光の当たる場所**
やむをえない場合はカーテンなどで遮光してください。

■ **換気の悪い場所**
使用中の本機からは、オゾンを発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。
ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントをする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

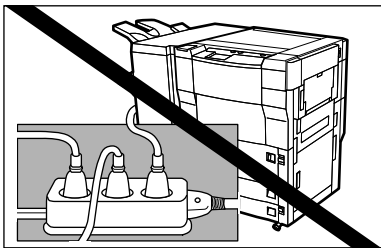
■ **ホコリ、チリなどの多い場所**

■ **アンモニアガスの発生する場所**

■ **アルコール、シンナーなどの近く**

■ **振動の多い場所**
床や土台などが不安定な場所

■ **温度が急に変化する場所**
冷えきった部屋を急激に暖めたときなど、機器内部に水滴がつき(結露現象)、画像が著しく損なわれたり、正しくプリントされないことがあります。

■ **コンピュータなどの電子機器や精密機械の近く**
電気的な原因やプリント時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

■ **テレビ、ラジオなどの電子機器の近く**
テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラツキや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

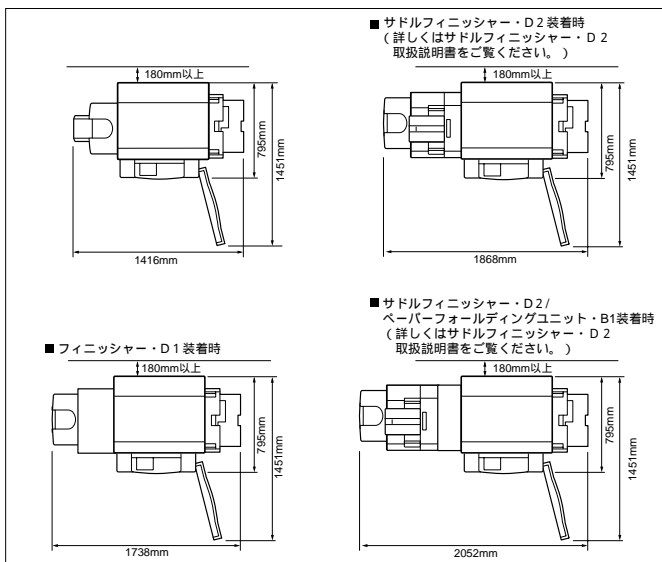
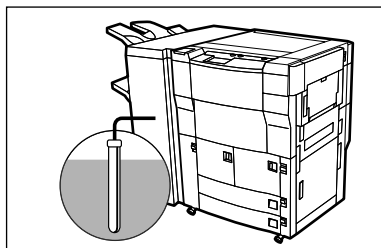
電源は安全な場所から

■ 電源は 100V（90V ～ 110V）15A 以上のコンセントからとってください。

■ 同じコンセントには、ほかの電気製品を接続しないでください。

■ テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。

■ 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると事故の原因になります。

設置スペースにはゆとりを

■ 本機の左右と前面には、操作に十分なスペースをとってください。

アース線の接続を忘れずに

■ 感電防止のため必ずアース線を接続してください。

＜アース線を接続してよいもの＞

・コンセントのアース端子
・接地工事（第 D 種）が行われているアース端子

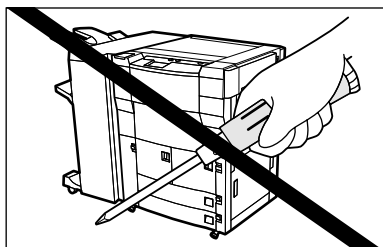
＜アース線を接続してはいけないもの＞

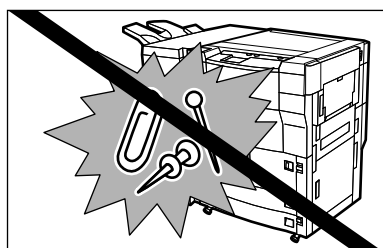
・ガス管（引火や爆発の危険があります）
・水道管（配管途中がプラスチックになっている場合があり、その場合はアースの役目を果たしません。ただし水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
・電話線のアースや避雷針（落雷の時に大量の電流が流れ危険です。）

移動の際はご連絡を

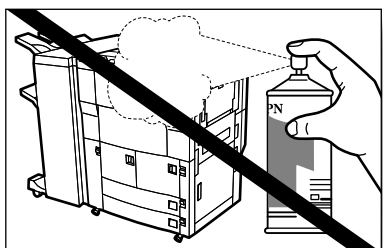
■ 移動の際は、担当サービスにご連絡ください。

取扱上のご注意

取扱について

■機器を分解したり、改造したりしないでください。

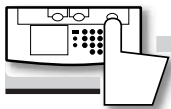
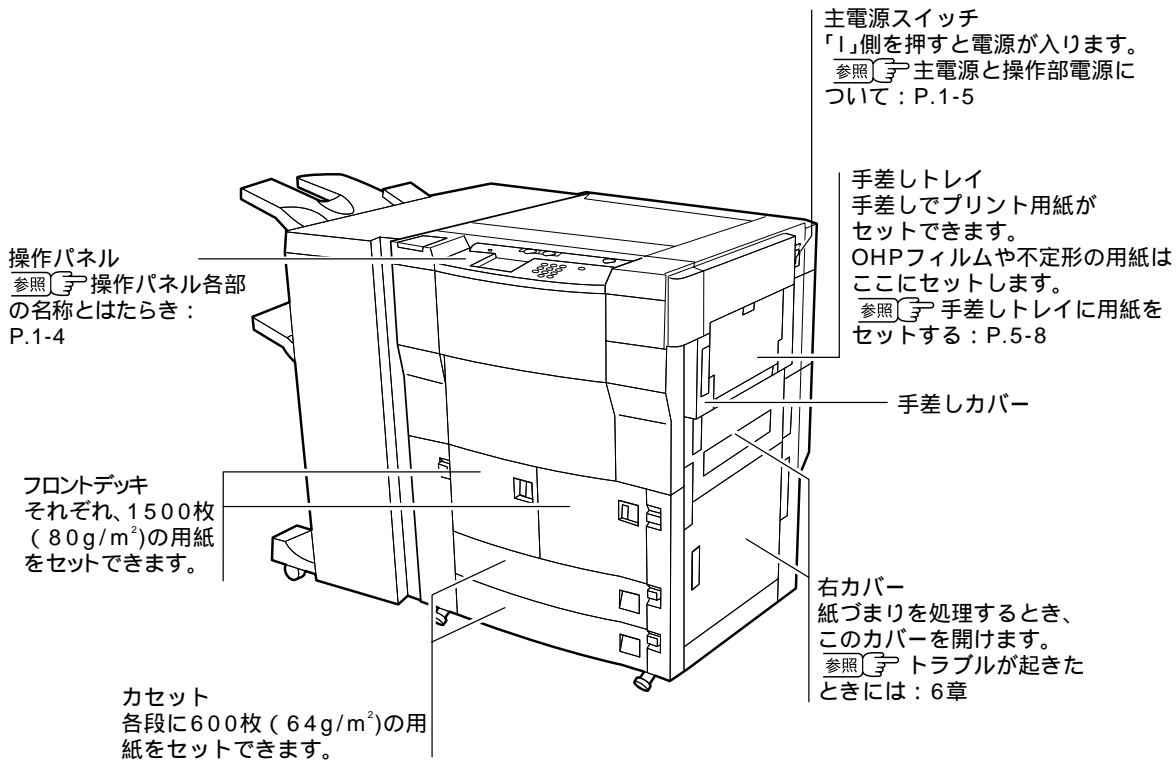
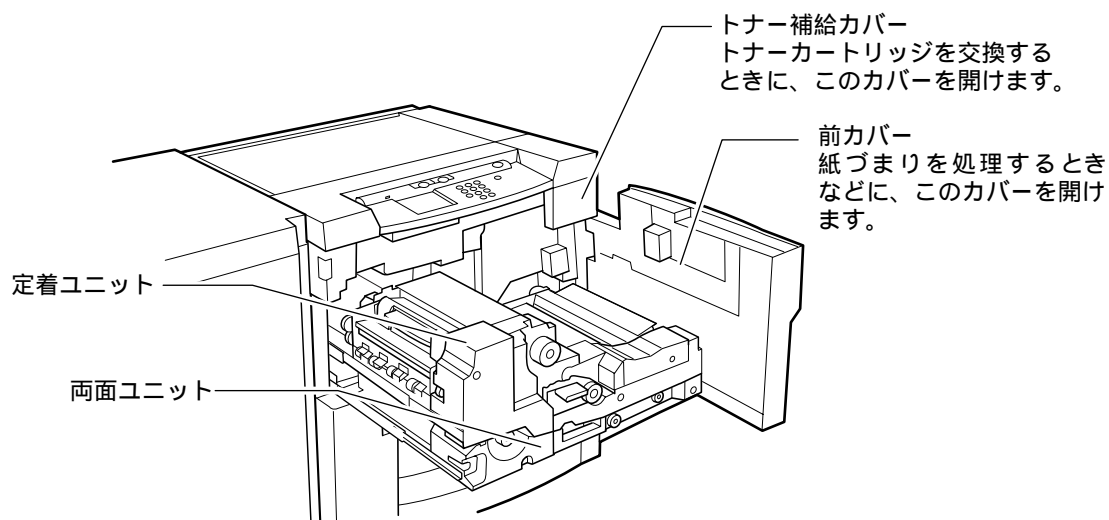
■機器の内部には高温、高圧になる部分があります。内部点検の際は十分に注意してください。また、この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

■機器の内部にクリップなどの異物をおとさないでください。また水などの液体をこぼさないでください。これらが電圧部分に接触すると、短絡や漏電などが起き、火災や感電の原因になる恐れがあります。

■異常な音がしたり煙がでたりした場合は、ただちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。また、いつでも電源プラグが引き抜けるよう、電源プラグの周りには物を置かないようにしてください。

■プリント中に主電源スイッチを切ったり、前カバーを開いたりしないでください。紙づまりの原因になります。

■機器の近くでは、強熱性のスプレーのりなどは使用しないでください。引火の危険性があります。

■夜間など長時間本機をご使用にならない場合は、操作部電源スイッチを切ってください。

1章　お使いになる前に

本体各部の名称とはたらき

本体外観

主電源スイッチ
「I」側を押すと電源が入ります。
参照 主電源と操作部電源について：P.1-5

手差しトレイ
手差しでプリント用紙がセットできます。
OHPフィルムや不定形の用紙はここにセットします。
参照 手差しトレイに用紙をセットする：P.5-8

操作パネル
参照 操作パネル各部の名称とはたらき：P.1-4

手差しカバー

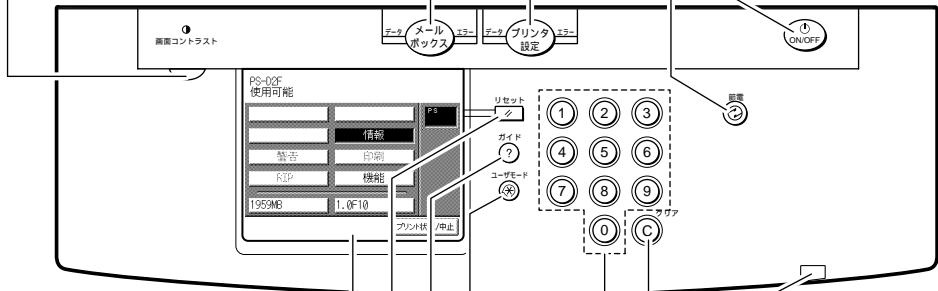
フロントデッキ
それぞれ、1500枚（80g/m²）の用紙をセットできます。

右カバー
紙づまりを処理するとき、このカバーを開けます。
参照 トラブルが起きたときには：6章

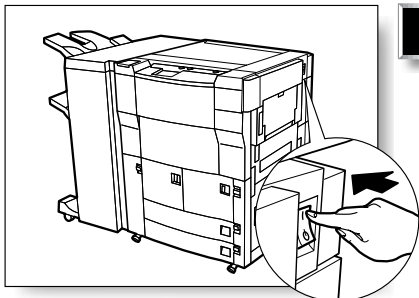
カセット
各段に600枚（64g/m²）の用紙をセットできます。

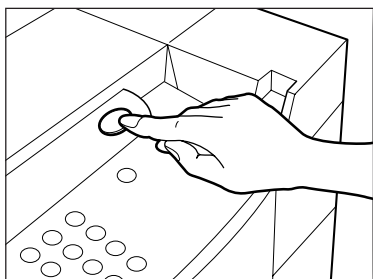
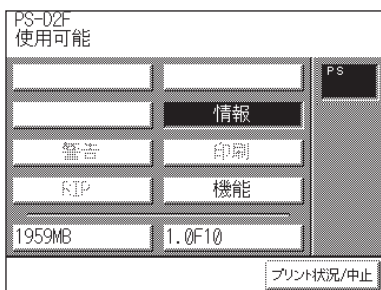
本体内部

トナー補給カバー
トナーカートリッジを交換するときに、このカバーを開けます。
前カバー
紙づまりを処理するときなどに、このカバーを開けます。
定着ユニット
両面ユニット

操作パネル各部の名称とはたらき

主電源と操作部電源について

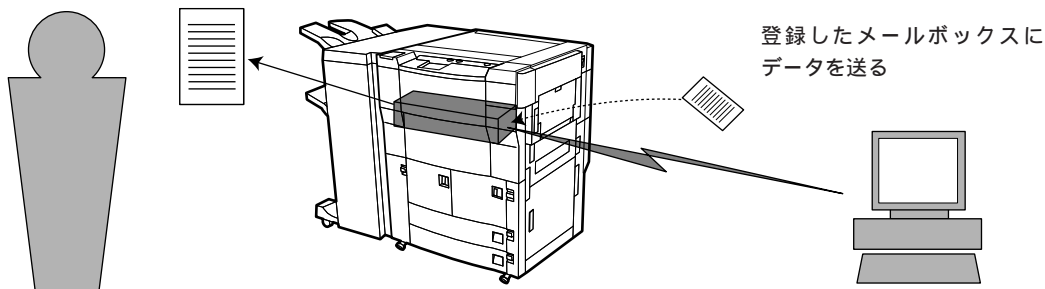
本機には主電源スイッチと操作部電源スイッチの２つの電源スイッチがあります。

電源の入れ方

1 **電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかを確認して電源を入れます。**

本体右側にある主電源スイッチの「Ｉ」側を押して電源を入れます。
操作パネルの主電源ランプが点灯します。

2 **操作部電源スイッチを押します。**

3 **タッチパネルに左の画面が表示されます。**

2章　メールボックスを活用する

メールボックスを活用する

本機を使ってコンピュータからプリントする場合に、メールボックスに一旦データを入れてから任意にプリントすることができます。
本機からプリントの操作を行うため、メールボックスに暗証番号を設定して他の人に内容を見られることなくプリントすることができます。

重要 ○それぞれのメールボックスには、最大 100 件までの文書を保存することができます。

メールボックスの文書をプリントする

メールボックスに保存されている文書をプリントすることができます。

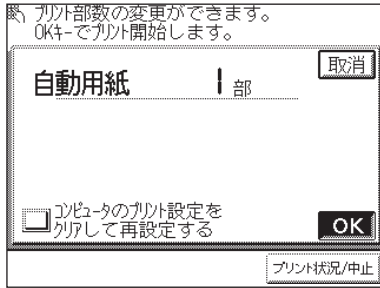
1 キーを押します。

2 目的のメールボックス番号を押します。

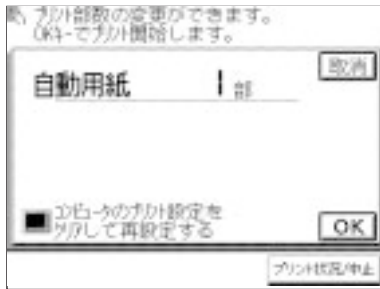
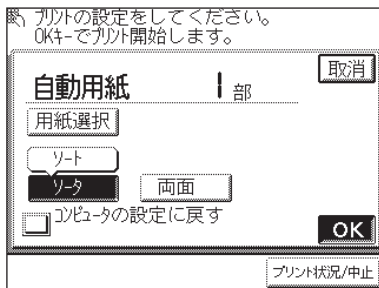
- 5つ以上のメールボックスを設定している場合は、 を押して次の画面を表示します。
- テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

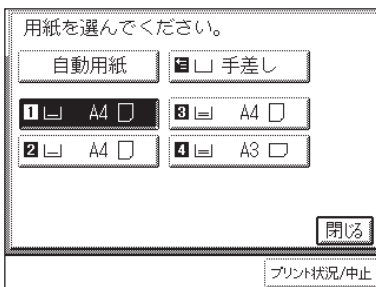
3 暗証番号を入力したあと、OK を押します。

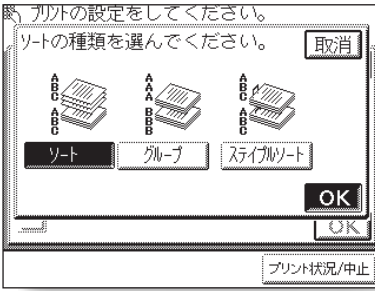
- メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（メールボックスの登録 / 設定をする：P.4-18）
  設定していない場合は、この操作は必要ありません。

4 プリントする文書を選択したあと、プリント を押します。

5 プリントする部数を設定したあと OK を押します。

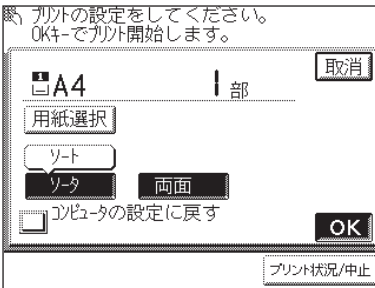
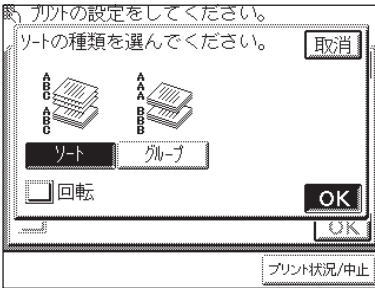
- プリント部数はテンキー（⓪〜⑨）から入力します。
- 間違って入力した場合は、Ⓒ キーを押して正しい数値を入力します。

プリントの設定をする場合

コンピュータのプリント設定をクリアして再設定する を押します。

プリント時の各項目を設定したあと、OK を押します。

- コンピュータの設定に戻す を押すと、設定が解除され、コンピュータの設定でプリントされます。プリント部数の設定は可能です。

◆用紙選択

プリントする用紙を選択します。

◆ソート

ソートの種類を選択したあと、［ＯＫ］を押します。

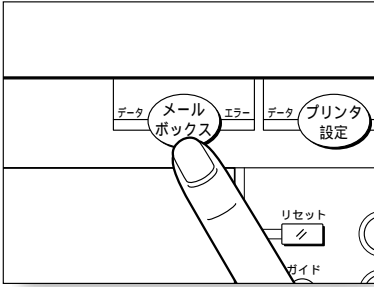
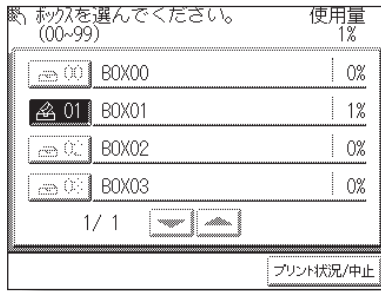
- ［ステイプルソート］は、オプションのフィニッシャ装着時に表示されます。
- ［回転］は、オプションのフィニッシャを装着していないときに表示されます。

◆両面

両面プリントする場合は、［両面］を押したあと、［OK］を押します。

プリントが開始されます。

- プリントを中止する場合は、［中止］を押します。

複数の文書をプリントする

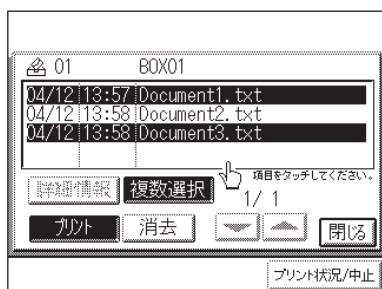
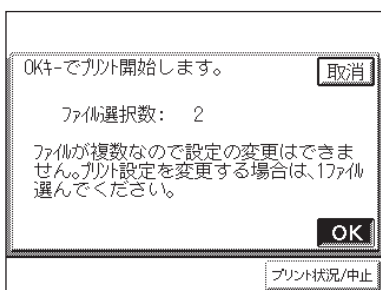
メールボックスに保存されている複数の文書をプリントすることができます。

1 キーを押します。

2 目的のメールボックス番号を押します。

- 5 つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
- テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3 暗証番号を入力したあと、OK を押します。

- メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（メールボックスの登録 / 設定をする：P.4-18）
  設定していない場合は、この操作は必要ありません。

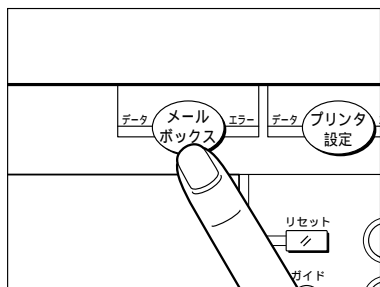
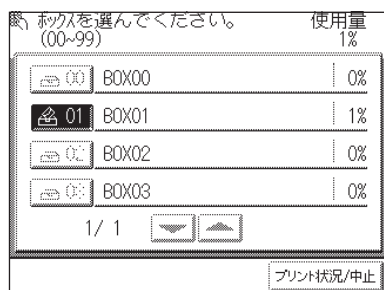
4 複数選択 を押したあと、プリントする文書を選択します。

5 プリント を押します。

6 OK を押します。

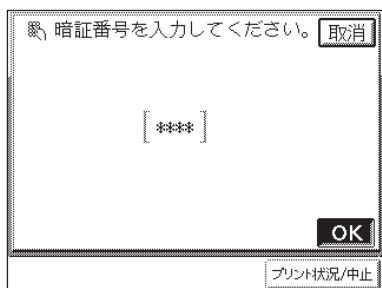
重要 ○複数の文書を選択してプリントする場合は、プリントの設定を変更することはできません。

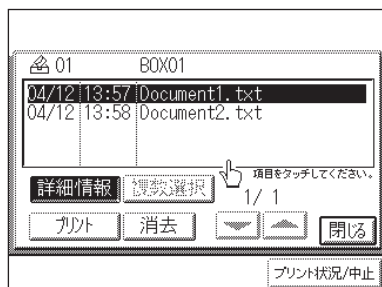
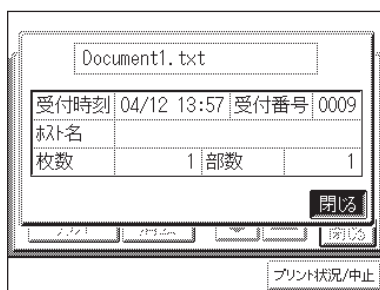
プリントが開始されます。

参考 ●プリントを中止する場合は、中止 を押します。

文書の詳細情報を確認する

メールボックスに保存されている文書の詳細情報を確認することができます。

1 キーを押します。

2 目的のメールボックス番号を押します。

- 5 つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
- テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3 暗証番号を入力したあと、OK を押します。

参考
- メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（参照 メールボックスの登録 / 設定をする：P.4-18）
  設定していない場合は、この操作は必要ありません。

4 文書を選択して、詳細情報 を押します。

5 詳細情報を確認したあと、閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、メールボックス選択画面に戻ります。

メールボックスの文書を消去する

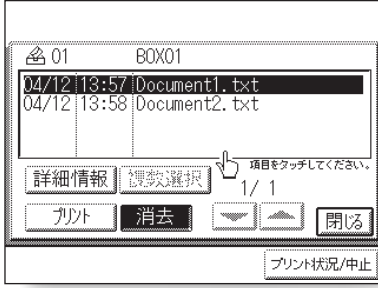
メールボックスに保存されている文書を消去することができます。

1 **キーを押します。**

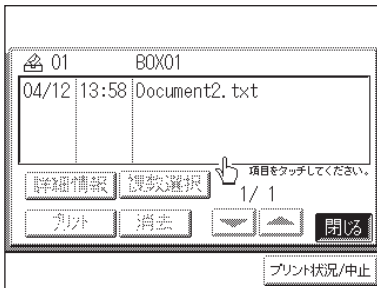
2 **目的のメールボックス番号を押します。**

●5つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
●テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3 **暗証番号を入力したあと、OK を押します。**

●メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（参照 メールボックスの登録 / 設定をする：P.4-18）
設定していない場合は、この操作は必要ありません。

4 文書を選択して、消去 を押します。

5 文書を確認して はい を選択します。

消去をキャンセルする場合は、いいえ を押します。

6 閉じる を押します。

メールボックス選択画面に戻ります。

複数の文書を消去する

メールボックスに保存されている複数の文書を消去することができます。

1

キーを押します。

2

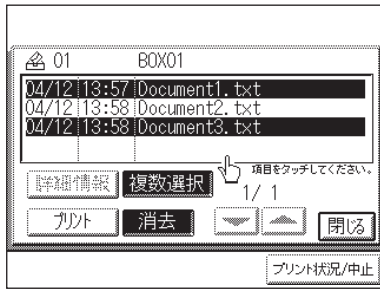
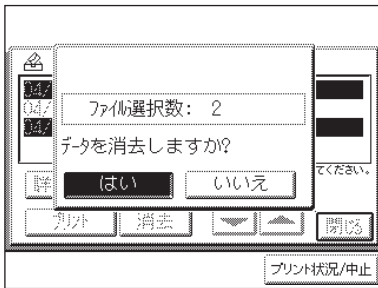
目的のメールボックス番号を押します。

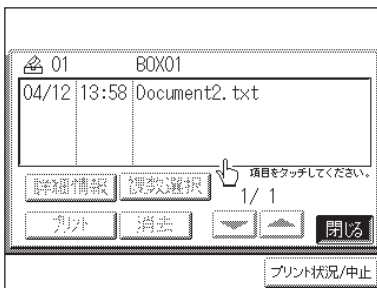
- 5つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
- テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3

暗証番号を入力したあと、OK を押します。

- メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（参照 メールボックスの登録 / 設定をする：P.4-18）
設定していない場合は、この操作は必要ありません。

4 複数選択 を押したあと、消去する文書を選択します。

5 消去 を押します。

6 文書を確認して はい を選択します。

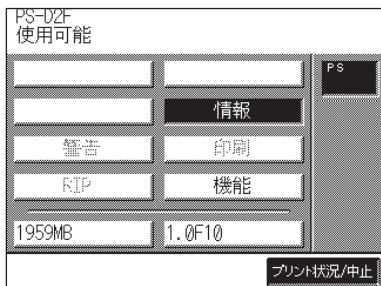
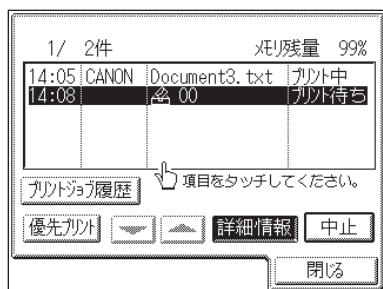
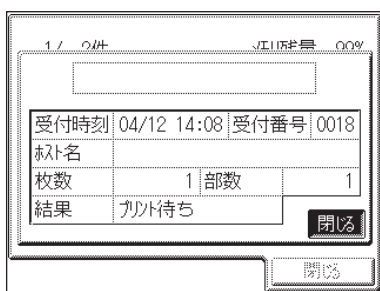
消去をキャンセルする場合は、いいえ を押します。

7 閉じる を押します。

メールボックス選択画面に戻ります。

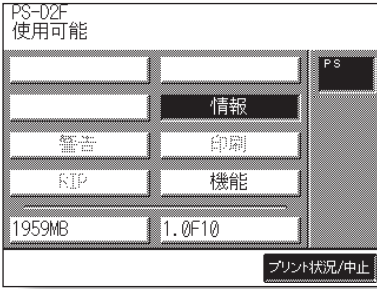
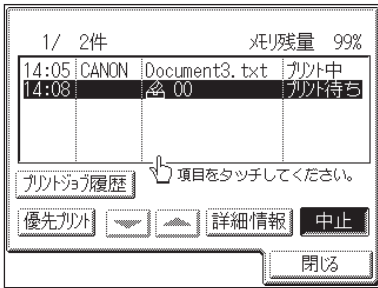
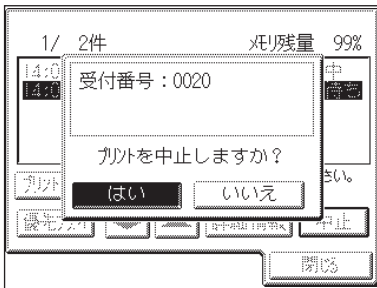
3章 プリントの状況を確認／変更する

プリント状況を確認／変更する

プリント状況／中止画面で、プリントの状況（待機状態、プリント中）を確認、変更することができます。

プリントする文書の詳細情報を確認する

1 **プリント状況 / 中止 を押します。**

2 **詳細情報を表示させる文書を選択して、詳細情報 を押します。**

3 **詳細情報を確認したあと、閉じる を押します。**

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

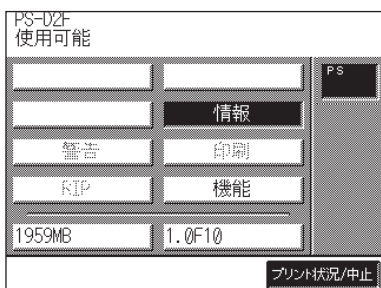
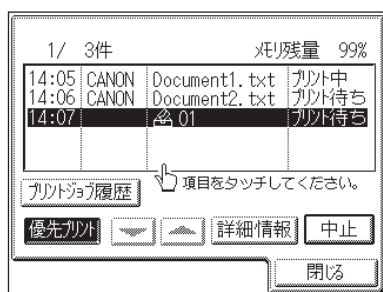
プリントを中止する

1 **プリント状況 / 中止 を押します。**

2 **プリントを中止する文書を選択して、中止 を押します。**

3 **文書を確認して、はい を選択します。**

中止をキャンセルする場合は いいえ を押します。

●プリントを中止した文書は、プリントジョブ履歴に NG と表示されます。

4 **閉じる を押します。**

プリンタ設定画面に戻ります。

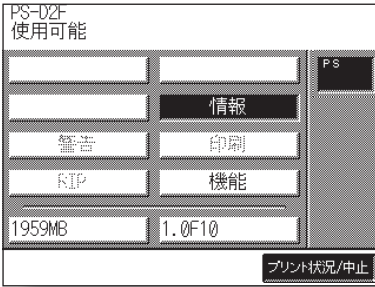
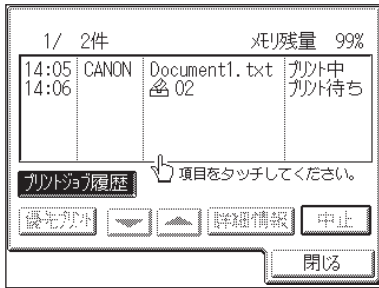
優先プリントする

プリント状況 / 中止 を押します。

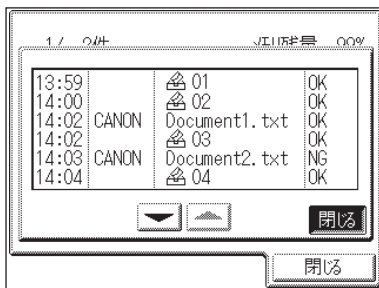
優先プリントする文書を選択して、優先プリント を押します。

参考
- 優先プリントにすると、現在プリント中の文書の次にプリントを開始します。

3 閉じる を押します。

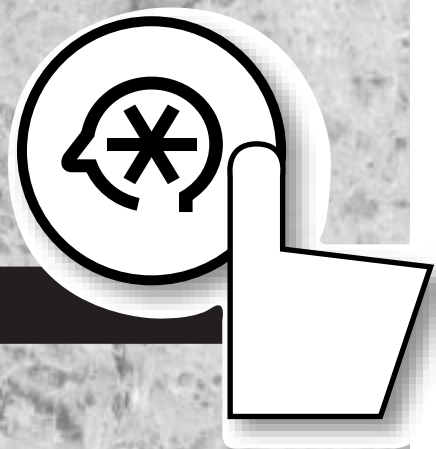
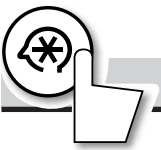
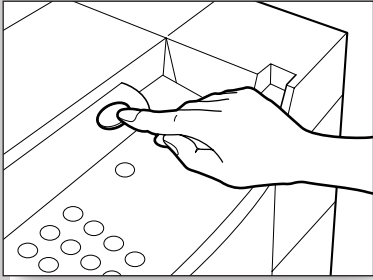
プリンタ設定画面に戻ります。

プリントジョブ履歴を確認する

プリント状況 / 中止 を押します。

2

プリントジョブ履歴 を押します。

3

履歴を確認したあと、閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

- ●プリントが正常に終了した文書はOK、プリントを中止した文書はNGと表示されます。
- ●プリントジョブ履歴には、40件分の文書が表示されます。

4章 使いかたにあわせて仕様を設定する

特徴的な機能

スリープ機能

操作部電源スイッチを切ると、タッチパネルの表示が消え、本機はスリープ状態になります。
スリープ状態にすることによって、節電することができます。ただし、操作が再開できる状態への復帰には多少時間がかかります。
操作を再開する場合は再度、操作部電源スイッチを押してください。タッチパネルにプリンタ設定画面が表示されます。

●夜間など長時間本機を使用しない際には、操作部スイッチを切ってください。

オートスリープ機能

動作終了後、またはキー操作後、約1時間何の操作も行なわなかった場合は、自動的に操作部電源スイッチが「OFF」になり、スリープ状態になります。操作部電源スイッチを再度「ON」にすると電源が入ります。

●オートスリープ状態になるまでの時間は 10 分～ 4 時間の範囲で設定できます。
（参照 オートスリープタイムの変更をする：P.4-13）

節電モードについて

本機を長時間使用しない場合は、節電キーを押して節電モードにすることができます。節電モードは、定着器の温度を下げて消費電力を少なくします。操作を再開する場合は再度節電キーを押します。操作部電源スイッチ、メールボックス キー、プリンタ設定 キーのいずれかを押しても操作を再開することができます。

●節電モードは、-10%モード、-25%モード、-50%モード、復帰時間なしの中から選択できます。
（参照 節電モードの変更をする：P.4-8）

低電力モードについて

操作終了後、またはキー操作後、約 15 分間何の操作も行わなかった場合は、自動的に低電力モードになります。操作を再開するには 節電 キーを押します。操作部電源スイッチ、メールボックス キー、プリンタ設定 キーのいずれかを押しても操作を再開することができます。

●低電力モード移行タイムは、10 分～ 4 時間の範囲で設定できます。
（ 参照 低電力モード移行タイムの変更をする：P.4-15）

オートカセットチェンジ機能

選択中のカセットの用紙がなくなったとき、他に同じサイズの用紙がセットされているカセットがあれば、そのカセットから自動的に給紙を始めます。

●それぞれのカセット段をオートカセットチェンジの対象にするかどうかを設定することができます。
（ 参照 カセットオート選択の ON ／ OFF を設定する：P.4-7）

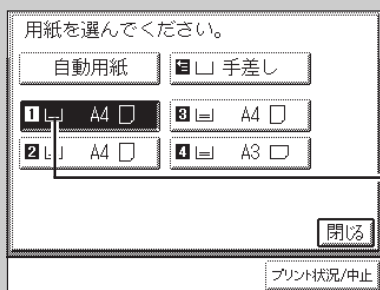
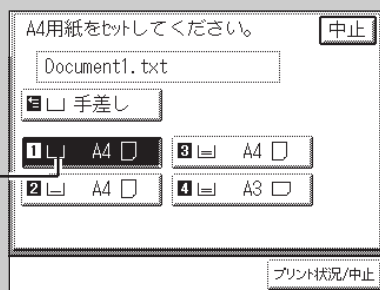
オートクリア機能

動作終了後、またはキー操作後、約２分間何の操作も行なわなかった場合は、設定した機能が自動的に「標準モード」になります。

●オートクリアする時間は１～９分の範囲で１分きざみで設定できます。オートクリアをしない設定にすることもできます。（ 参照 オートクリアタイムの変更をする：P.4-14）

用紙残量表示機能

用紙選択時や連続プリント中に用紙がなくなった時に、それぞれのカセットの用紙残量を表示します。
表示には、次の 4 種類があります。

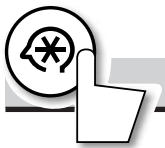
表示	用紙残量
▤	カセット容量の 100%～約 50%
▤	カセット容量の約 50%～約 10%
▤	カセット容量の約 10% 以下
⊔	用紙なし

ユーザモード一覧表

仕様の設定とは

電源を入れたときや、キーを押したときなどに、本機は初期設定に戻ります。
仕様の設定とは、本機の各モードの初期値や、備えているモードを使うか使わないかなどを登録/設定することにより、初期設定を変更することです。

重要 ○オプションの構成によって設定する必要のない項目があります。これらの項目は網点で表示されます。
本書で使われているタッチパネルの画面例においては、便宜上、これらの項目を全て実線で表示しています。

仕様設定で登録／設定できる項目（* マークが工場出荷時の設定）

ユーザモード項目		設定項目
共通仕様設定	ブザーの設定	入力音／警告音／ジョブ終了音（各 ON* ／ OFF）
	カセットオート選択の ON ／ OFF	各カセット段:ON* ／ OFF
	節電モードの変更	－ 10% * ／－ 25%／－ 50%／復帰時間なし
	インチ入力の ON ／ OFF	ON ／ OFF*
	用紙アイコンの設定	色／再／特／プリンタ／青／赤／黄／緑（指定なし *）
	システム管理暗証番号の設定	4 桁の数字が入力可能（設定なし *）
	共通仕様設定の初期化	初期化
タイマー設定	日付／時刻の設定	設定（10 桁の数字）
	オートスリープタイムの変更	10、15、20、30、40、50分、1時間*、90分、2、3、4時間
	オートクリアタイムの変更	なし、1 ～ 9 分（1 分間隔）・2 分 *
	低電力モード移行タイム	10、15*、20、30、40、50分、1時間、90分、2、3、4時間
	静音モード移行時間	なし、1 ～ 9 分（1 分間隔）・1 分 *
	ウイークリータイマーの設定	日～土曜まで 00：00 ～ 23：59（1 分間隔）
調整／クリーニング	ワイヤのクリーニング	開始キー
	ダブルとじステイプル幅の変更	40 ～ 150mm・120mm*
イメージサーバ仕様設定	メールボックスの登録	ボックスNo.、暗証番号(4桁)、名称(半角24文字以内)、自動消去
	イメージサーバ容量設定	メールボックス：0 ～ 1700MB(500MB*)、テンポラリ、フォーム

基本的な仕様を設定する

参考
- 共通仕様設定は、いくつかの項目にわかれています。 ▼ ▲ を押して、目的の項目を選択してください。
- ▼ ▲ を押す必要がある場合は、→ で示しています。

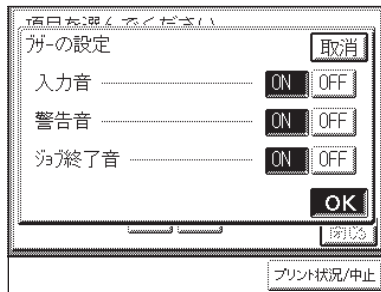
ブザーの設定をする

次に示す３種類のブザーを必要に応じて ON ／ OFF できます。また、それぞれのブザーは次の状態で鳴ります。

入力音　　　：操作部上のキーやタッチパネル上のキーをタッチしたとき（工場出荷時の設定：ON）
警告音　　　：機械にトラブル（紙づまり、誤操作など）が発生したとき（工場出荷時の設定：ON）
ジョブ終了音：ジョブが終了（排紙終了、ステイプル終了など）したとき（工場出荷時の設定：ON）

参考
- ジョブ終了音は、本体操作部から起動したジョブ（メールボックスジョブ）が終了したときのみ鳴ります。

1 **目的の画面を次の手順で表示させます。**

ユーザモード キー → 共通仕様設定 → ブザーの設定

2 **入力音 、 警告音 および ジョブ終了音 の ON ／ OFF をそれぞれ選択したあと、 OK を押します。**

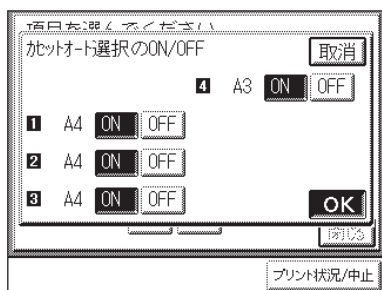
3 **閉じる を押します。**

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

カセットオート選択のON／OFFを設定する

自動用紙選択とオートカセットチェンジの対象となるカセットを各段ごとに設定することができます。

参考
●「ON」に設定したカセットは、次の機能での選択時に対象となります。
・自動用紙選択　：プリントする用紙サイズに応じて用紙を選ぶ機能です。
・オートカセットチェンジ　：連続プリント中にカセットの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている他のカセットから自動的に給紙する機能です。
●工場出荷時の設定は、カセット（1 ～ 4）が「ON」に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 各カセットのON／OFFを選択したあと、OK を押します。

ON　：カセットをオート選択の対象にします。
OFF：カセットをオート選択の対象にしません。

3 閉じる を押します。

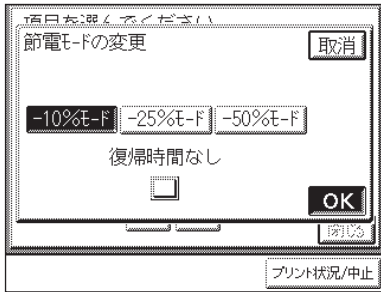
この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

節電モードの変更をする

節電モードの消費電力のセーブ率を変更できます。

参考 ●工場出荷時は、「－10% モード」に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー → 共通仕様設定 → ▼▲ → 節電モードの変更

2 －10%モード 、 －25%モード 、 －50%モード 、「復帰時間なし」のいずれかを選択したあと、OK を押します。

参考 ●各モードを選択すると、通常の状態（電源ONでプリントできる状態）に比べて、以下のように消費電力をセーブできます。
- －10%モード ：約10%少ない（約1分）＊
- －25%モード ：約25%少ない（約1分30秒）＊
- －50%モード ：約50%少ない（約2分30秒）＊
- 復帰時間なし ：約2%少ない（約0秒）＊

＊（ ）内の時間は、プリントできる状態への復帰時間の目安です。

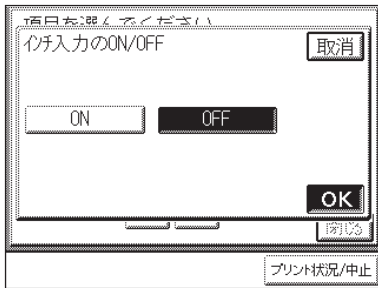
3 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

インチ入力をするかどうか設定する

インチ入力を設定することで、数値入力を行うモードの画面でインチ入力キーを表示させることができます。

●工場出荷時は、「OFF」に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 ON または OFF を選択したあと、OK を押します。

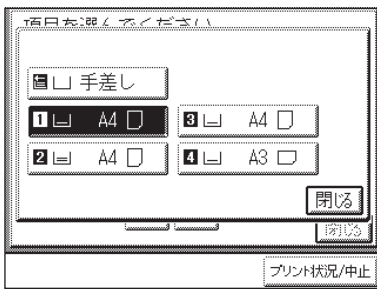
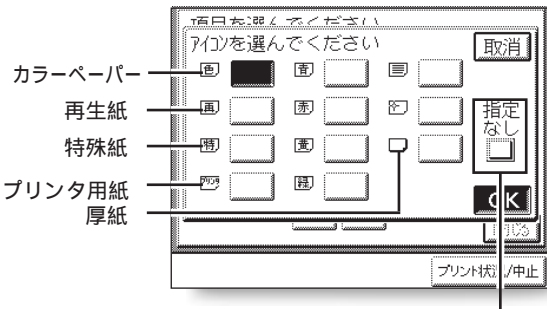
3 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

カセット内の用紙の種別をひとめでわかるようにする

用紙選択をする際、カセット内の用紙の種別をアイコン表示させることができます。
たとえば、再生紙や色紙などをお使いになる場合に便利です。

●工場出荷時は、「指定なし」に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 アイコンを登録するカセットを選択します。

3 用紙選択時に用紙サイズの横に表示するアイコンを選択したあと、OK を押します。

手順 2 の画面に戻ります。

●用途にあわせて選択してください。

● 指定なし を押すと設定を解除できます。

4 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

●ここで登録したアイコンは、用紙選択時に、下のように表示されます。

システム管理暗証番号の設定、変更をする

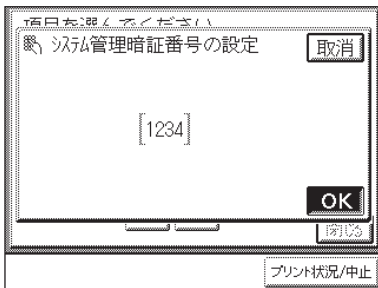
システム管理者のための暗証番号を設定します。

●工場出荷時は、システム管理暗証番号は設定されていません。

1 **目的の画面を次の手順で表示させます。**

ユーザモード キー

2 **システム管理暗証番号を変更する場合は、先に設定したシステム管理暗証番号を入力したあと、OK を押します。**

はじめて設定する場合は、手順３へ進みます。

3 **システム管理暗証番号として、設定または変更する4桁の数字を入力したあと、OK を押します。**

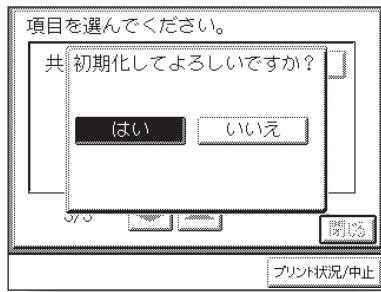
4 **閉じる を押します。**

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

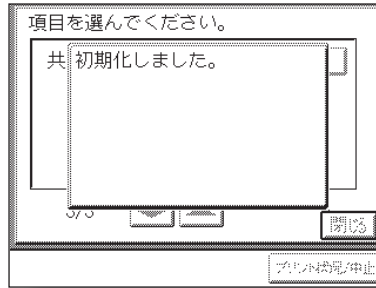
共通仕様設定の初期化

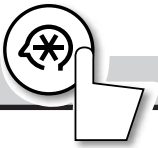
共通仕様設定の内容を、工場出荷時の設定に戻します。

●システム管理暗証番号の設定は初期化できません。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 はい を選択します。

参考 ●初期化をキャンセルするときは、いいえ を選択します。

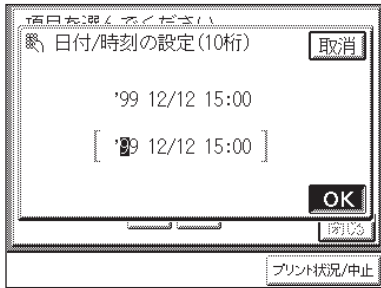
下の画面が約 2 秒間表示されます。

3 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

各種タイマーの設定をする

参考 ●タイマー設定は、いくつかの項目にわかれています。▼ ▲ を押して、目的の項目を選択してください。
●▼ ▲ を押す必要がある場合は、→ で示しています。

日付／時刻の設定をする

現在の日付と時刻を設定します。設定した日付と時刻は、時刻指定機能の基準時刻になります。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 テンキーを使って、現在の日付（年、月、日）と時刻を入力したあと、OK を押します。

参考
●年は西暦の下 2 桁を入力します。
●月日は数字 4 桁を入力します。
（例：5 月 5 日の場合は " 0505 " と入力します。）
●時刻は 24 時間制で入力します。
（例：午後 3 時 3 分は " 1503 " と入力します。）
●入力を間違えたときは、クリア キーを押して、西暦から入力し直してください。
●西暦 2000 年は '00 と表示されます。

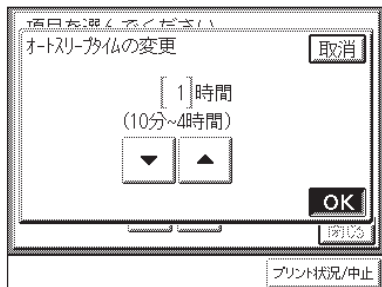
3 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

オートスリープタイムの変更をする

「オートスリープ」とは、動作終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行なわれなかった場合に、節電のために自動的に操作部電源スイッチを「OFF」にしてスリープ状態にする機能です。

●工場出荷時は、「1」時間に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

オートスリープタイムの変更

2 ▼ ▲ を押してオートスリープタイムを設定したあと、OK を押します。

10、15、20、30、40、50 分、1 時間、90 分、2 ～ 4 時間（1 時間間隔）の範囲で設定できます。

3 閉じる を押します。

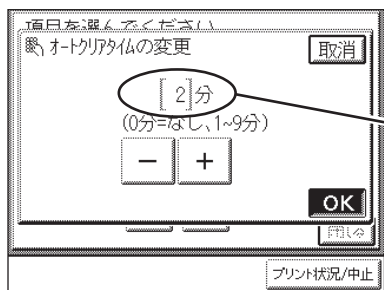
この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

オートクリアタイムの変更をする

「オートクリア」とは、動作終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行なわれなかった場合に、タッチパネルの表示を自動的にプリンタ設定画面に戻す機能です。
ここでは、オートクリアされるまでの時間（オートクリアタイム）を 1 ～ 9 分（1 分刻み）の範囲で指定します。
また、オートクリアをしないように設定することもできます。

参考 ●工場出荷時は、「2」分に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー → タイマー設定 → オートクリアタイムの変更

2 テンキー、または − ＋ でオートクリアタイムを設定したあと、OK を押します。

0　　：オートクリアなし
1 ～ 9：1 分きざみで設定します。

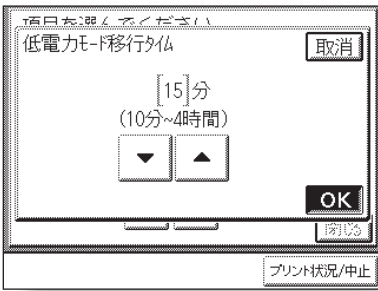
3 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

低電力モード移行タイムの変更をする

動作終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行われなかった場合、定着器の温度を下げて消費電力をおさえる低電力モードに自動的に移行します。ここでは低電力モードに移行されるまでの時間を設定することができます。

●工場出荷時は、「15」分に設定されています。

目的の画面を次の手順で表示させます。

▼ ▲ で低電力モード移行タイムを設定したあと、OK を押します。

10、15、20、30、40、50分、1時間、90分、2～4時間（1時間間隔）の範囲で設定できます。

閉じる を押します。

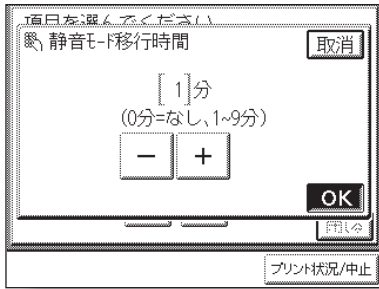
この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

静音モード移行時間の変更をする

本機は、動作終了後、またはキー操作終了後、一定時間以上何の操作も行われなかった場合、本機内部の機器音を止めて静音モードに自動的に移行します。ここでは、静音モードに移行されるまでの時間を設定します。

○高温環境での使用では、0分（なし）に設定しないでください。

●工場出荷時は、「1」分に設定されています。

目的の画面を次の手順で表示させます。

2 テンキー、または [−] [+] で静音モード移行時間を設定したあと、[OK] を押します。

3 [閉じる] を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

ウイークリータイマーの設定をする

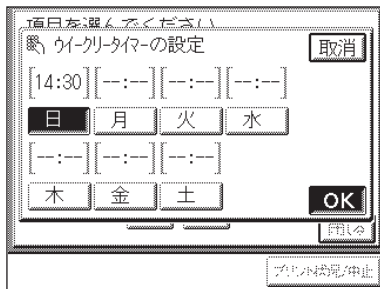
曜日ごとに自動的に操作部電源スイッチを切る時刻を設定します。

・設定範囲　　　　：日曜日〜土曜日までの毎日　00:00〜23:59　1分間隔

・工場出荷時の設定：指定なし

参考 ●オートクリアタイムとウイークリータイマーが同時に設定されている場合は、オートクリアタイムが優先されます。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー → タイマー設定 → ▼▲ → ウイークリータイマーの設定

2 曜日を選択したあと、時刻をテンキーで入力して、[OK] を押します。

参考
●時刻は「時」「分」を連続した４桁の数字で入力します。

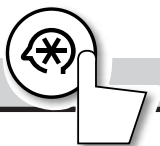
例：　　７時５分 → 0705

23時18分 → 2318

●入力を間違えたときは、再度４桁の数字を入力します。

●時刻を設定しないときは、クリア キーを押します。

3 [閉じる] を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

調整

●調節/クリーニングはいくつかの項目にわかれています。[▼] [▲] を押して、目的の項目を選択してください。
● [▼] [▲] を押す必要がある場合は、──▼▲──▶ で示しています。

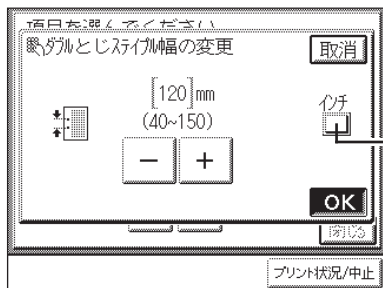
ダブルステイプルのとじ幅を変更する

ダブルステイプルのとじ幅を 40 ～ 150mm の範囲で変更することができます。

重要 ○オプションのフィニッシャを装備していない場合は、この設定をする必要はありません。

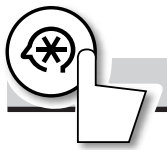
参考 ●工場出荷時は、「120mm」に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー ──▶ [調整/クリーニング] ──▼▲──▶ [ダブルとじステイプル幅の変更]

2 テンキー、または [−] [＋] でとじ幅を設定したあと、[OK] を押します。

●インチサイズで設定する場合は、ユーザモードで設定しておきます。
（参照 インチ入力をするかどうか設定する：P. 4-9）

3 [閉じる] を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

イメージサーバの仕様を設定する

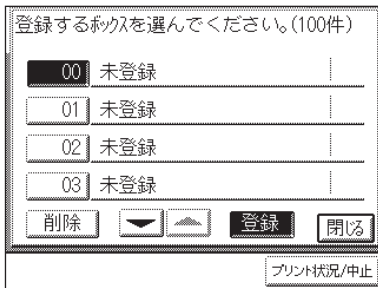
メールボックスの登録／設定をする

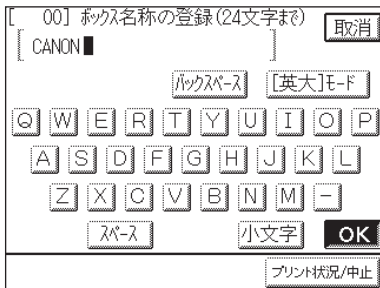
メールボックスの登録 / 設定をします。

●メールボックスは、100 個（ボックス番号：00 ～ 99）まで登録できます。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー → イメージサーバ仕様設定 → メールボックスの登録

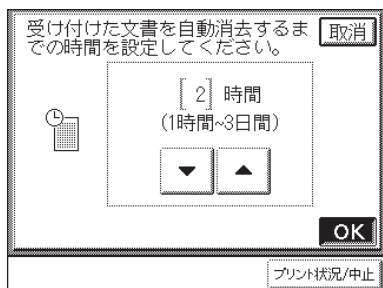
登録するボックスを選んでください。(100件)
00 未登録
01 未登録
02 未登録
03 未登録
削除 ▼ ▲ 登録 閉じる
プリント状況/中止

2 ボックス番号を押したあと、登録 を押します。

●5 つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
●テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3 ボックスの名称を入力したあと、OK を押します。

●文字を入力する方法については、（参照 タッチパネルから文字を入力する：P.8-2）を参照してください。
●「かな漢」「カナ」「英大（英小）」「記号」「コード」モードで、24 文字まで登録できます。ただし、「かな漢」「記号」「コード」モードで入力した文字は、2 文字分に数えます。また、「カナ」で入力した濁点（゛）半濁点（゜）は 1 文字分に数えます。
●登録を中止したい場合は、取消 を押します。

暗証番号をテンキーで入力したあと、［OK］を押します。

重要 ○設定した暗証番号を確認する方法はありませんので、暗証番号は忘れないでください。

参考
- ●暗証番号を設定しない場合は、そのまま［OK］を押します。
- ●Ⓒ（クリア）キーを押すと、入力した文字（数字）を消去することができます。
- ●登録を中止したい場合は、［取消］を押します。

［▼］［▲］を押して、自動消去するまでの時間を設定したあと、［OK］を押します。

参考 ●工場出荷時は「2」時間に設定されています。

6

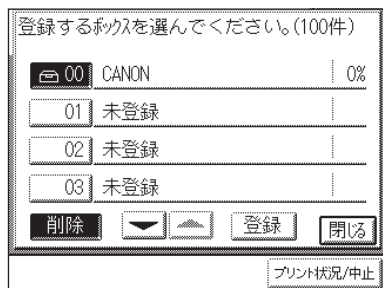
［閉じる］を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

メールボックスを削除する

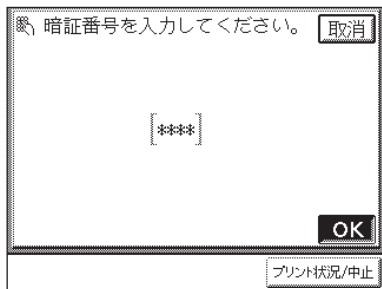
●メールボックスの中にデータが残っている場合は、削除することはできません。

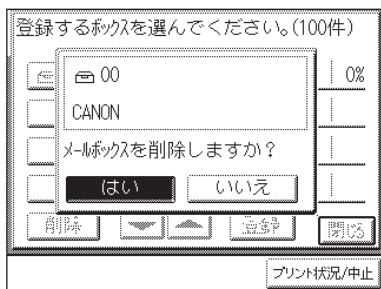
1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード ㊍ キー → イメージサーバ仕様設定 → メールボックスの登録

2 削除するボックスを選択したあと、削除 を押します。

●5つ以上のメールボックスを設定している場合は、▼ ▲ を押して次の画面を表示します。
●テンキー（⓪～⑨）からメールボックスの番号を入力して選択することもできます。

3 暗証番号を入力したあと、OK を押します。

●メールボックスの登録をするときに設定した暗証番号を入力します。（参照 メールボックスの登録/設定をする：P.4-18）
設定していない場合は、この操作は必要ありません。

4 ボックスを確認したあと、はい を押します。

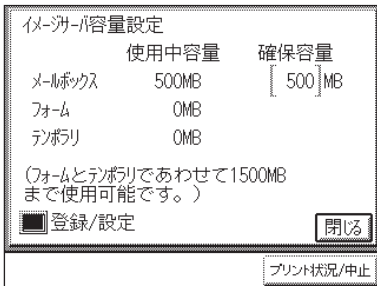
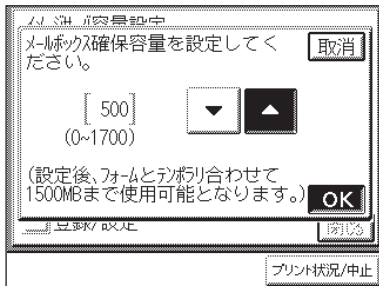
削除をキャンセルする場合は、いいえ を押します。

5 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

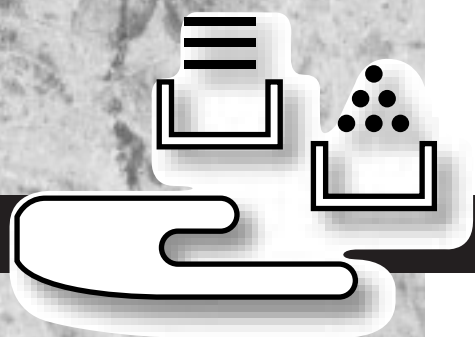
イメージサーバの容量を設定する

イメージサーバの容量を設定します。

参考 ●工場出荷時は、500MB に設定されています。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

2 登録 / 設定 を押します。

3 ▼ ▲ を押して、メールボックスの確保容量を設定したあと、OK を押します。

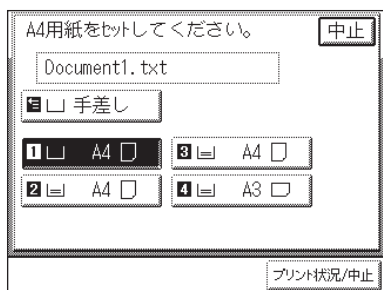
4 閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

5章 用紙／トナーを補給するには

用紙の補給

給紙カセット、フロントデッキに用紙を補給する方法について説明します。

●給紙カセット、フロントデッキにセットできる用紙サイズは、次のとおりです。
・フロントデッキ：A4、B5（いずれかに固定です。サイズ変更にはサービスマンによる変更作業が必要です。）
・給紙カセット：A3～A5R

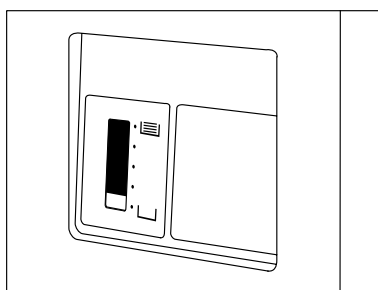
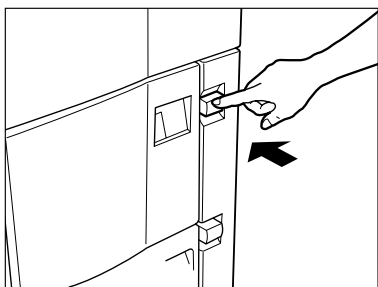
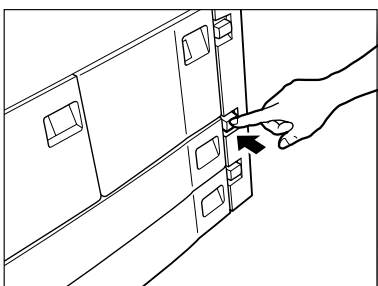
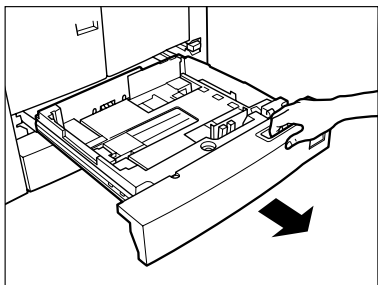
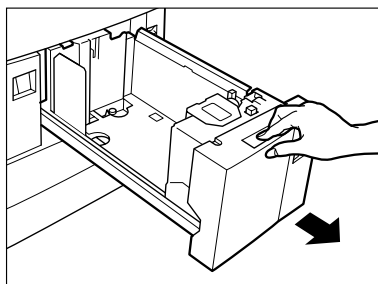
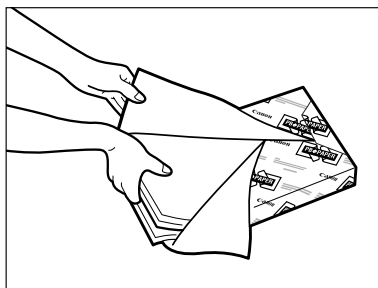
用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本機のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルに用紙の補給を促す画面が表示されます。

例）プリント中に、用紙がなくなったときに表示される画面
反転している給紙カセット、フロントデッキや手差しトレイに用紙がないことを示しています。

○**用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。**

○選択した給紙カセットやフロントデッキが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。給紙カセットやフロントデッキは完全に押し込んでください。

用紙残量表示

●給紙カセットやフロントデッキの用紙残量表示でも用紙残量を確認することができます。
●プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときは、用紙を補給したあと、自動的にプリント動作を再開します。

用紙を補給する給紙カセットまたはフロントデッキのオープンボタンを押します。

2 給紙カセットまたはフロントデッキの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。

3 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

○残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

○次のような用紙は、カセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。

紙づまりを起こしやすい紙

- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表紙が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も含む）

高温によって変質する用紙

- 定着器の熱（約180℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
- 糊などがついた用紙

プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

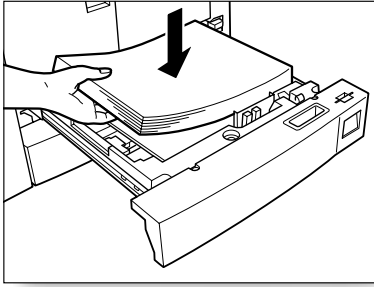
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

トナーが定着しにくい用紙

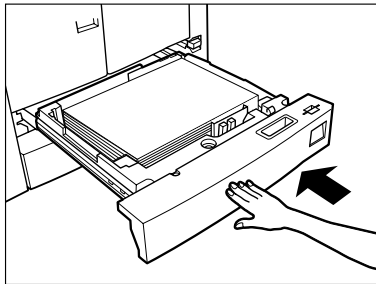
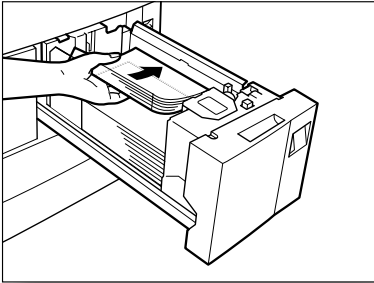
- ざら紙、和紙のような表面がなめらかでない用紙、繊維のあらい用紙

●フロントデッキにはそれぞれ約1500枚（$80g/m^2$）の用紙がセットできます。

●給紙カセットにはそれぞれ約600枚（$64g/m^2$）の用紙がセットできます。

●快適なプリントをしていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をお勧めいたします。

4 開封した面を下向きにして用紙をセットします。

用紙をそろえ、給紙カセットまたはフロントデッキの右側面にぴったりと突き当ててセットしてください。

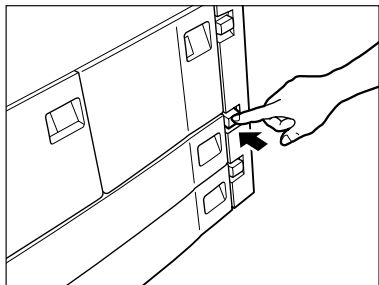
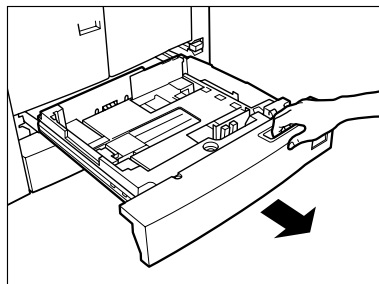
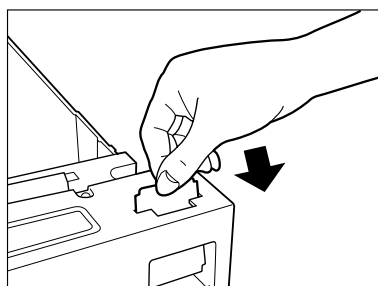
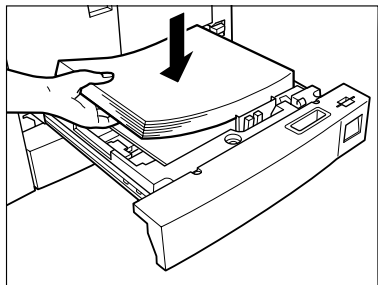
重要
○用紙がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
○用紙の高さが積載制限表示（ ）をオーバーしないように注意してください。
○手差しトレイに用紙をセットするときは、開封した面を上向きにしてください。
○用紙を補給する場合は、給紙カセットまたはフロントデッキの用紙サイズ設定と、セットする用紙サイズがあっていることを確認してください。

5 給紙カセットまたはフロントデッキを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。

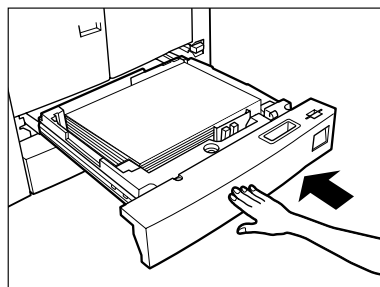
重要
○用紙をセットした給紙カセットまたはフロントデッキの横の空いている部分には､用紙や用紙以外のものを入れないでください。
紙づまりの原因になる場合があります。

参考
●用紙切れでプリント動作が中断されたときは､用紙補給後、タッチパネルに表示されるメッセージに従って操作してください｡本機はプリント動作を再開します。

初めて用紙を補給するときは

初めて用紙を補給するときは、セットする用紙に合わせてガイドを調整し（給紙カセット）、サイズプレートをセットする必要があります。これらの作業を行ったあとに用紙を補給します。

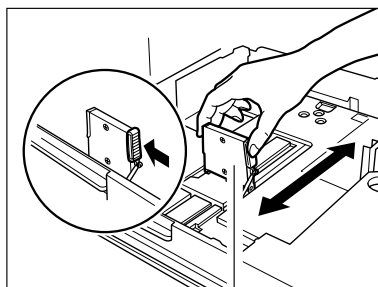
●フロントデッキの用紙サイズは、A4 あるいはB5 に固定です。サイズ変更にはサービスマンによる変更作業が必要です。

1 給紙カセットのオープンボタンを押します。

2 給紙カセットをそのまま止まるところまで手前に引き出します。

3 カセットで使用する用紙サイズに合わせて、サイズプレートをセットします。

用紙をセットします。

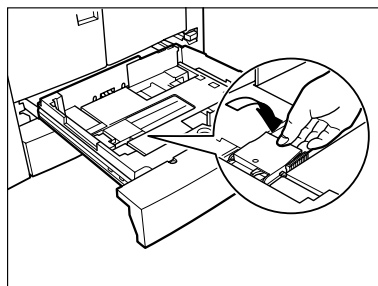
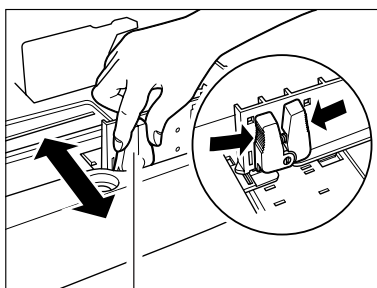
参照 用紙を補給する：P.5-2
参照 給紙カセットの用紙サイズを変更する：P.5-7

5 給紙カセットを元に戻します。

参照 用紙を補給する：P.5-2

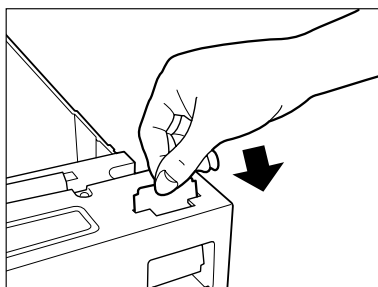
給紙カセットの用紙サイズを変更する

セットする用紙のサイズが今までセットしていた用紙と異なる場合は、次のようにガイドを調節してください。
設定できる用紙サイズ：A3/A4/A4R/A5R/B4/B5/B5R

○用紙サイズの変更ができるのは、給紙カセットのみです。
○フロントデッキの用紙サイズの変更は、サービスマンによる変更作業が必要です。
○オプションのフィニッシャを装着している場合は、B5R の用紙をセットしないでください。

長さガイド

1 **図のようにレバーをつまみ、「長さガイド」をスライドさせ、セットする用紙サイズの指標に合わせます。**

A3 にセットする場合のみ、「長さガイド」を左端までスライドさせたあと、ガイドを右に倒します。

幅ガイド

2 **図のようにレバーをつまみ、「幅ガイド」をスライドさせ、セットする用紙サイズの指標に合わせます。**

○長さガイドと幅ガイドを正しく合わせないと、用紙サイズがタッチパネルに正しく表示されません。また、紙づまりやプリントの汚れ、本機内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標に必ず正しく合わせてください。

3 **給紙カセットの「サイズプレート」を変更後の用紙サイズのものに交換します。**

手差しトレイに用紙をセットする

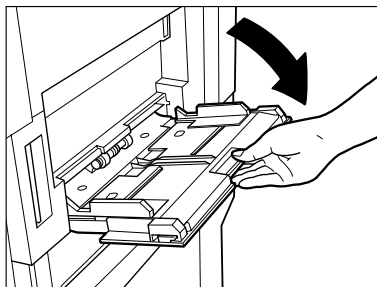
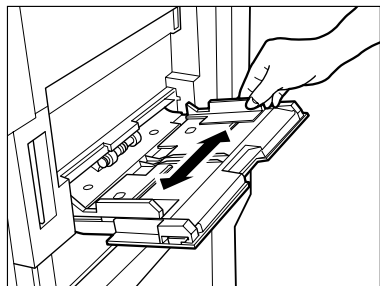
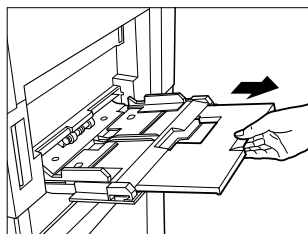
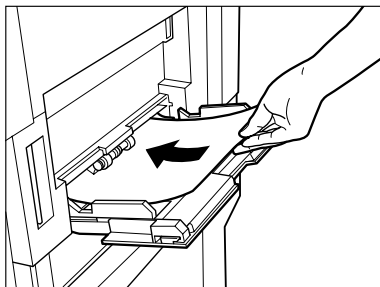
OHP フィルムや不定形の用紙にプリントするときは、カセットではなく、手差しトレイにセットしてください。手差しでプリントできる用紙には次の 3 種類があります。

■ **定形サイズ**
A/B サイズまたはインチサイズの定形サイズが選択できます。

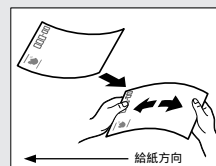
■ **フリーサイズ**
定形サイズと不定形サイズ（139 × 182mm 〜 297 × 432mm）の用紙がセットできます。

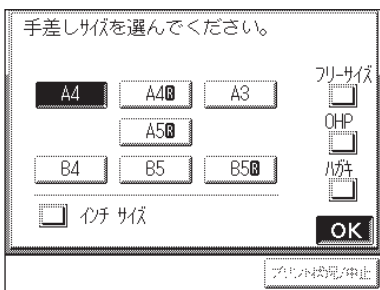
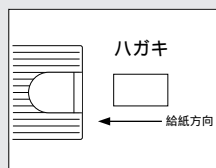
■ **ハガキ**
ハガキがセットできます。

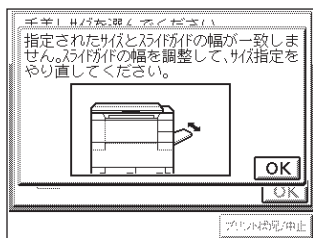
〇手差しする用紙については次の点に注意してください。
- 用紙枚数：1〜約 50 枚（高さ約 5mm）
- 用紙サイズ：A3 〜ハガキ（タテ送り）
- 用紙の厚さ：64g/m² 〜 200g/m²
- カールした用紙は、必ずカールを直してから使用してください。
  （カール量：定形サイズ／フリーサイズ 10mm 以下、ハガキ 5mm 以下）
- 紙質によっては紙送りされない場合があります。

●ハガキの場合、両面プリントを設定できません。

手差しトレイを開きます。

2 セットする用紙サイズに合わせて、スライドガイドを調節します。

用紙が大きいときは補助トレイを引き出します。

3 用紙を手差しトレイにセットします。

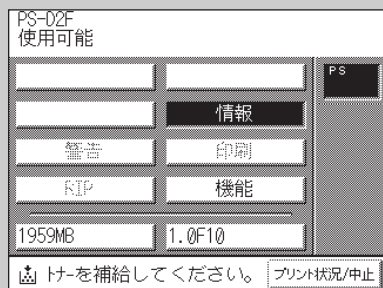
必要枚数の用紙を、プリントする面を上向きにして、ガイドに沿って止まるところまで差し込みます。

○ハガキはカールしていると、紙づまりを起こしやすくなります。図のように曲げて、カールを直してから手差しトレイにセットしてください。

参考

●ハガキをセットする場合は、図のようにセットしてください。

用紙サイズを選択したあと、OK を押します。

○用紙サイズは、手差しトレイにセットした用紙と同じサイズを選択してください。
○ハガキを手差しトレイにセットする場合は、必ず ハガキ を押してください。正しく指定しないと、紙づまりの原因になります。
○OHP フィルムにプリントする場合は、必ず OHP を押してください。
○オプションのフィニッシャ装着時は、B5Rを選択することができません。
○不定形サイズの用紙をセットする場合は、フリーサイズ を押してください。

◆ **左の画面が表示されたときは、スライドガイドの幅を調節してサイズを設定し直してください。**

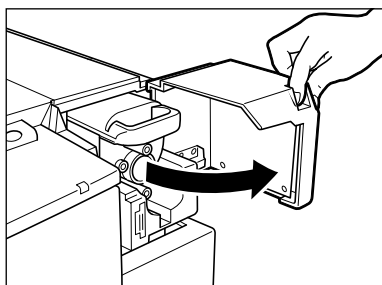
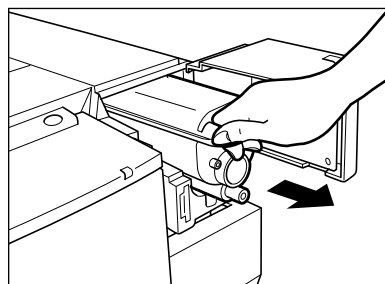
トナーカートリッジの交換

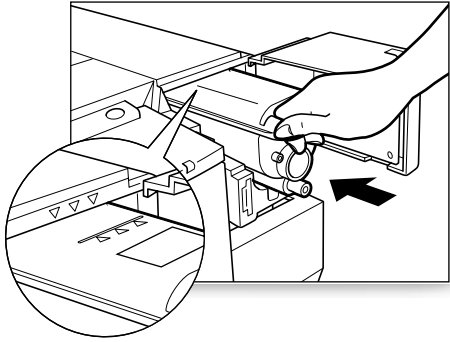
トナーの残量が少なくなると、タッチパネルにトナーの補給を促すメッセージが表示されます。

トナーが残り少なくなると、左のメッセージが表示されます。また、プリントすることはできますが、交換用のトナーカートリッジを用意してください。

●プリントできる枚数は表示が出てから約200枚（A4 6%プリント）です。ただし、データによってプリントできる枚数は変わることがありますので、早めにトナーカートリッジを交換することをおすすめします。

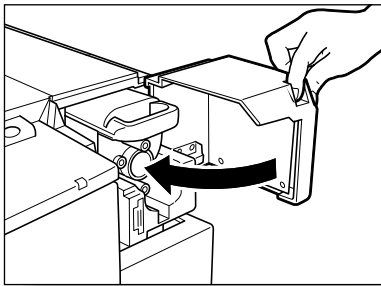
トナーがなくなり、プリントできない状態になると、ディスプレイに補給方法が表示されます。

警告 ○トナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。

お願い ○トナーは必ず本機専用トナーを使用してください。

1 トナー補給カバーを開けます。

2 トナーカートリッジを引き出します。

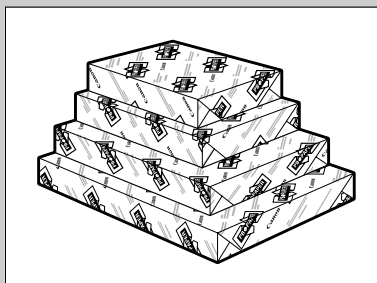
注意 ○使用済みのトナーカートリッジを機械から取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように丁寧に取り出してください。トナーが目や口などに入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

3 新しいトナーカートリッジを元の位置まで押し込みます。

○新しいトナーカートリッジの先にテープが付いていますので、セットする前にはがしてください。

●トナーカートリッジの▲マークと、本体側の▼マークが合う位置まで押し込んでください。

4 トナー補給カバーを閉じます。

消耗品／別売付属品

本機には次のような消耗品・別売付属品が用意されています。
詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。

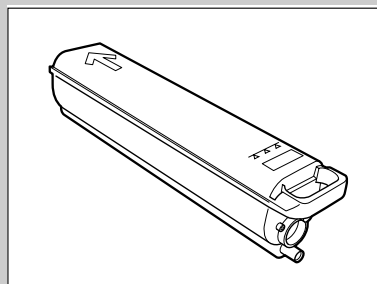
消耗品

プリント用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）の他に、カラーペーパー、OHP フィルム（本機専用）、第 2 原図用紙、ラベル紙などがあります。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

警告

○用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

お願い

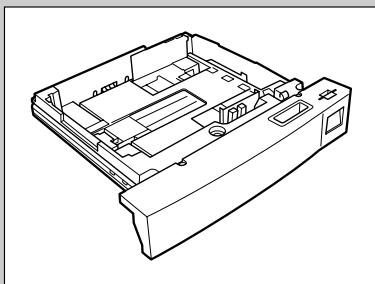
○快適なプリントをしていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をお勧めいたします。
○用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

専用ブラックトナー

トナー補給のメッセージが表示されたら、本機専用のトナーカートリッジの交換をしてください。トナーはブラックトナーのみご使用になれます。

警告

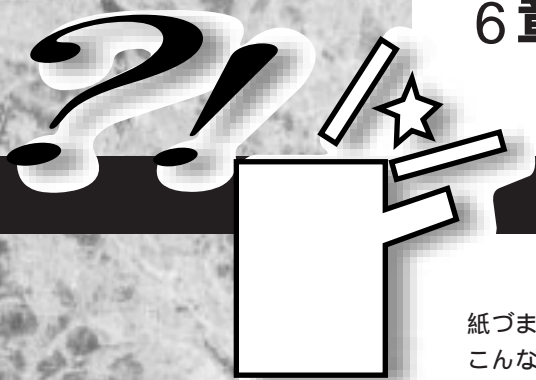
○トナーは火中に投じないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。
○トナーは直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。（望ましい環境：温度30℃以下／湿度80%以下）
○トナーは火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

プリント用紙、トナーはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

別売付属品

給紙カセット

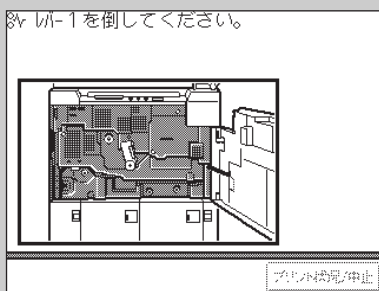
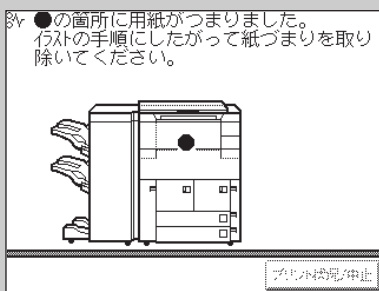
セットする用紙に合わせて、サイズ切り替えができます。
（ 給紙カセットの用紙サイズを変更する：P.5-7）
参照 給紙カセットの用紙サイズを変更する：P.5-7
セットできる用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R

参考
●オプションのフィニッシャを装着している場合は、B5Rの用紙をセットしないでください。

6章 トラブルが起きたときには

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルに次のような画面が表示されます。

紙づまりの処理方法を示す画面

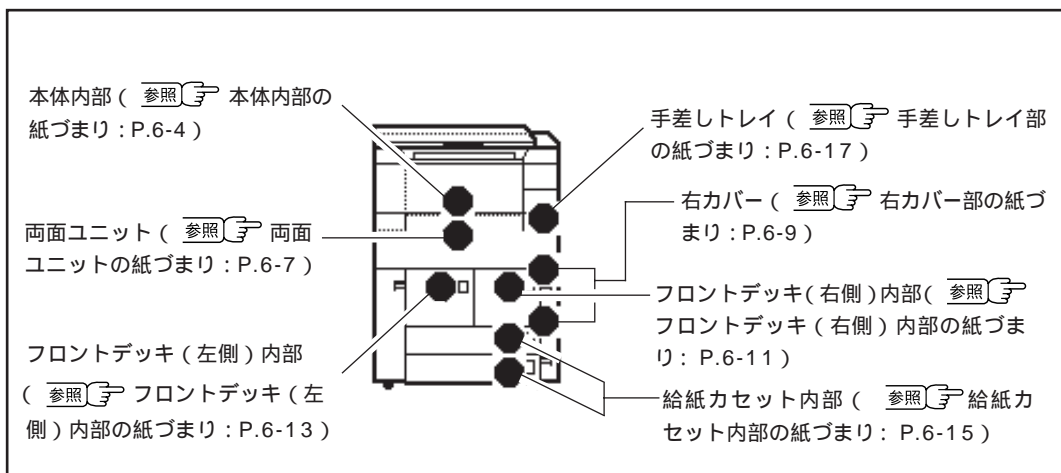
紙づまりの箇所を示す画面の例

紙づまりの処理方法を示す画面の例

タッチパネルに、紙がつまっている場所を示す画面が表示されてから、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

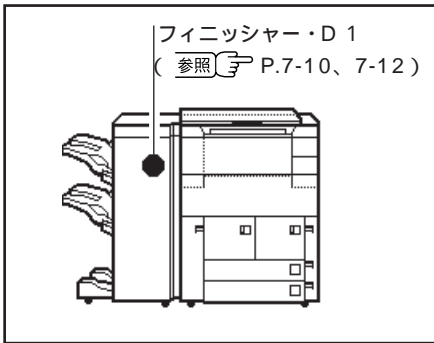
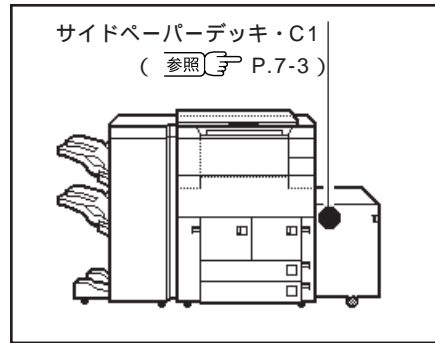
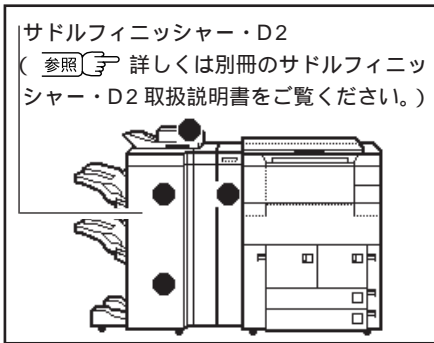
⚠注意

○紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
○紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレッドなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 **紙づまり箇所を確認し、画面に表示される処理方法と本書の参照ページの記載にしたがって紙を取り除きます。**

紙づまり箇所表示画面と参照ページ

重要 ○用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

オプションで紙づまりが起きた場合は、それぞれの項目を参照ください。

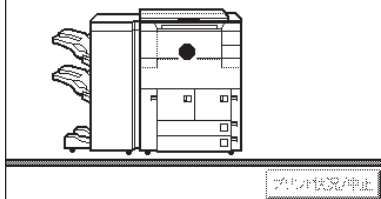
フィニッシャー・D1

サイドペーパーデッキ・C1

サドルフィニッシャー・D2

2 表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。

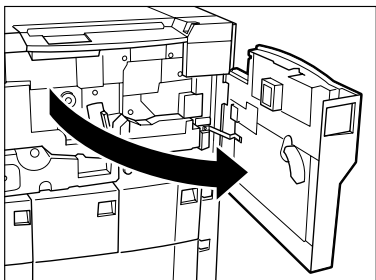
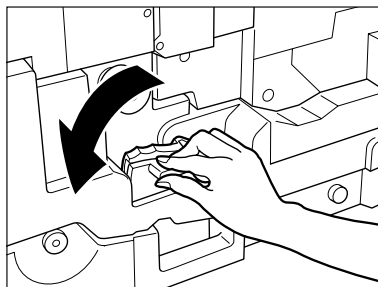
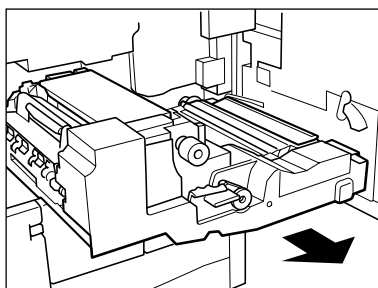
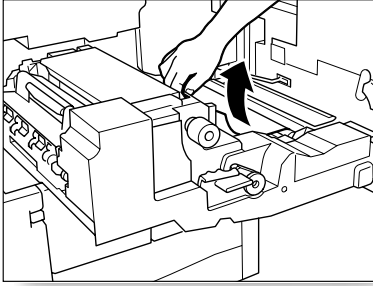
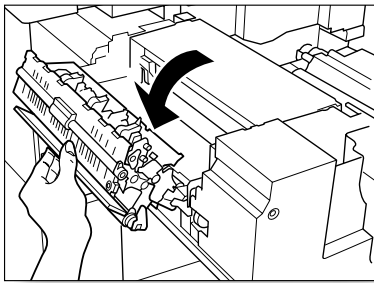
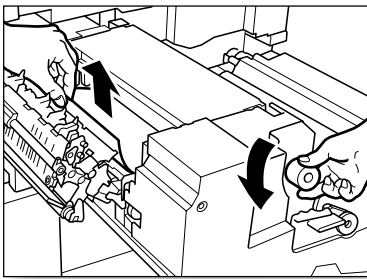
3 画面の指示に従って操作を続けます。

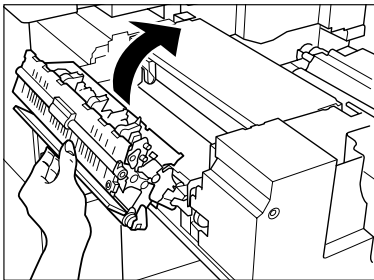
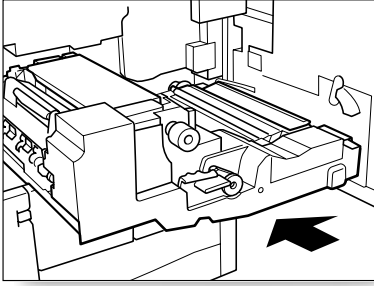
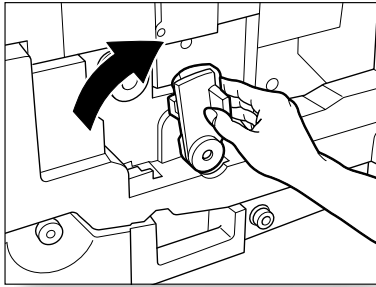
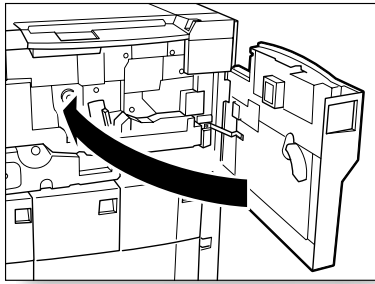
◆ 取り除く紙が他にもある場合

タッチパネルに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順 1 からと同様の作業をしてください。

●紙づまりの処理が終了すると、プリント動作が再開されます。

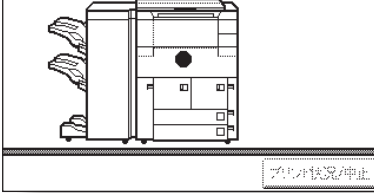
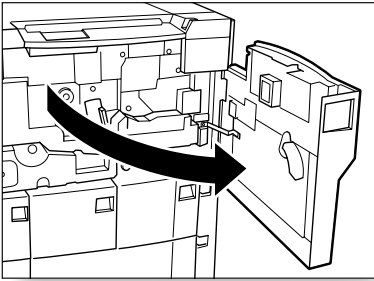
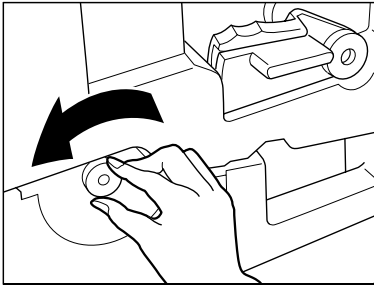
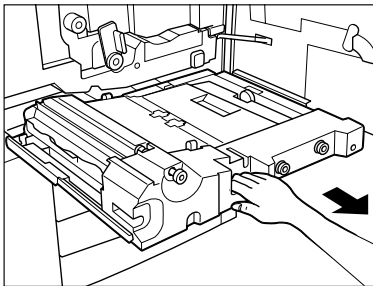
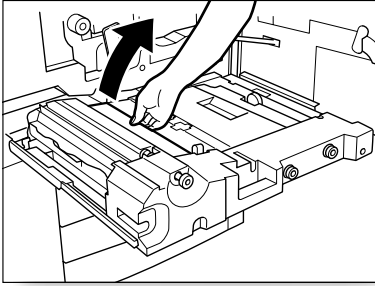
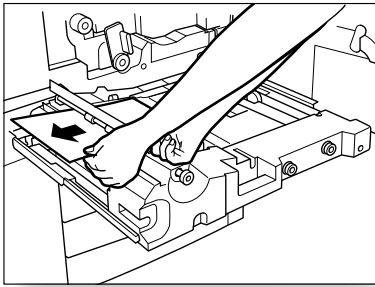
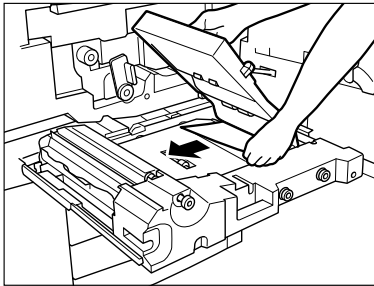
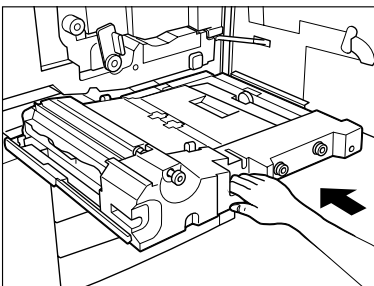
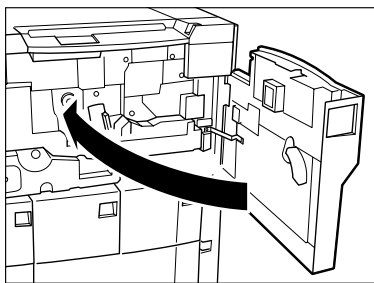
本体内部の紙づまり

本体内部で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **本体の前カバーを開きます。**

2 **緑色のレバーを横にします。**

3 **レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。**

●定着ユニットと両面ユニットが一緒に引き出されたときは「両面ユニットの紙づまり」（P.6-7）をご覧ください。

4 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

5 左のカバーを開きます。

6 矢印の方向に緑色のつまみを回し、カバー内につまっている用紙を取り除きます。

⚠注意
○カバーの周囲には高温の部分があります。用紙を取り除くときは、カバー以外の部分には触れないように注意してください。

7 カバーを閉じます。

8 定着搬送ユニットを押し込みます。

9 緑色のレバーを元に戻します。

10 つまっている用紙をすべて取り除いたら、前カバーを閉じます。

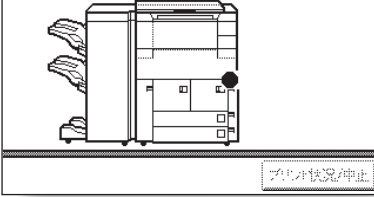
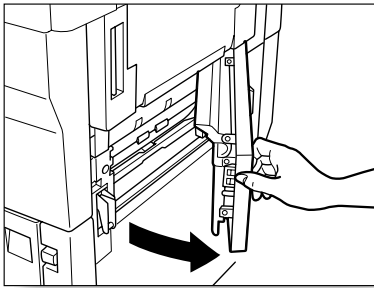
11 画面の指示に従って操作します。

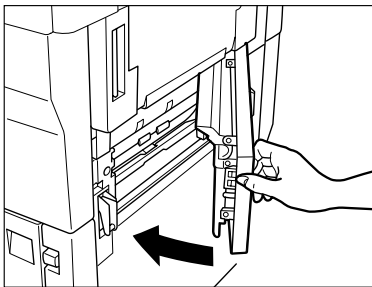
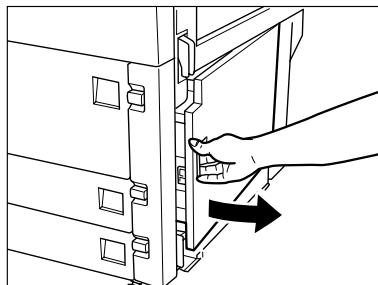
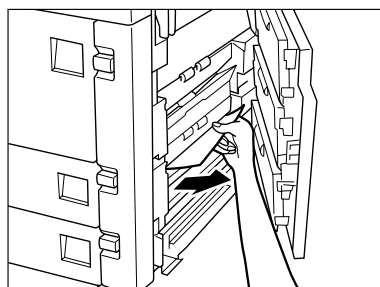
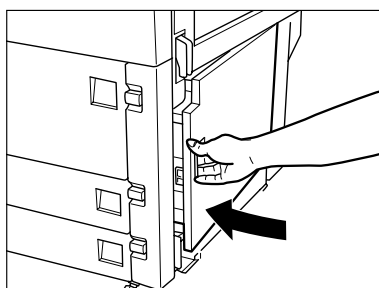
参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

両面ユニットの紙づまり

両面ユニットで紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **本体の前カバーを開きます。**

2 **矢印方向に緑色のつまみを回し、定着ユニットと両面ユニットの間につまっている用紙を両面ユニットに送ります。**

3 **両面ユニットを引き出します。**

4 両面ユニット上に残っている用紙を取り除きます。

5 図のように左側のカバーを下に押しながら、つまっている用紙を取り除きます。

6 両面搬送ユニットを開き、つまっている用紙を取り除きます。

7 両面ユニットを押し込みます。

8 つまっている用紙をすべて取り除いたら、前カバーを閉じます。

9 画面の指示に従って操作します。

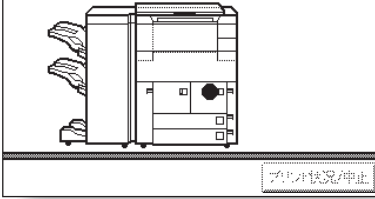
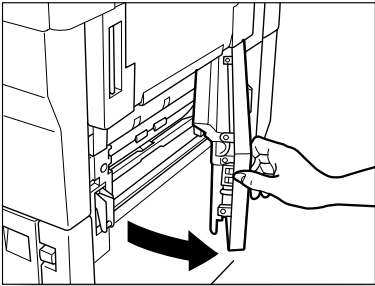
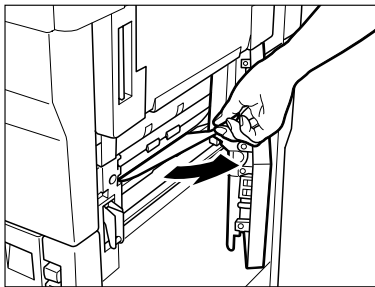
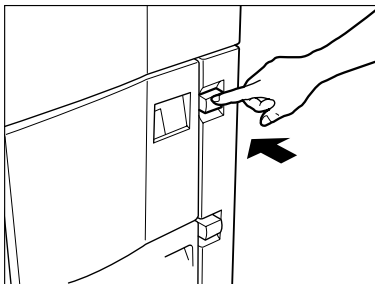
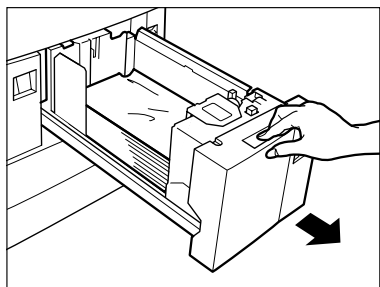
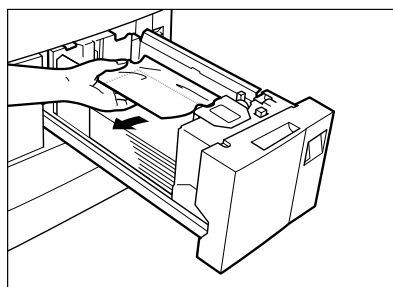
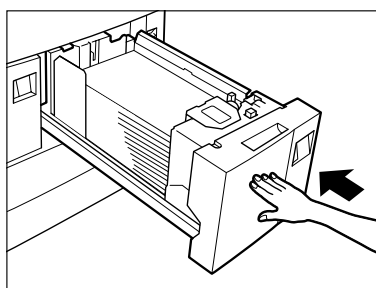
参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

右カバー部の紙づまり

右カバー部で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **本体の右カバー（上）を開きます。**

2 **つまっている用紙を取り出します。**

3 **本体の右カバー（上）を閉じます。**

4 本体の右カバー（下）を開きます。

5 つまっている用紙を取り出します。

6 本体の右カバー（下）を閉じます。

7 画面の指示に従って操作します。

参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

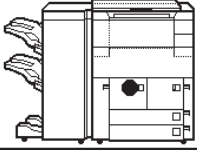
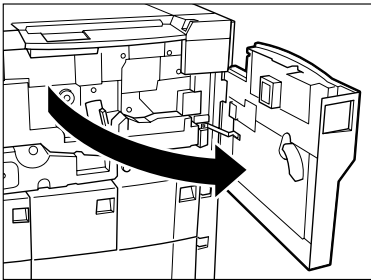
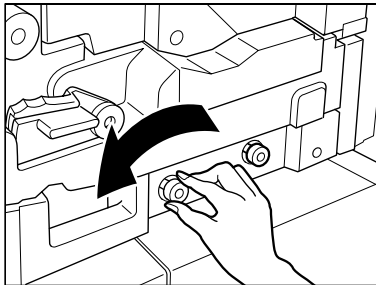
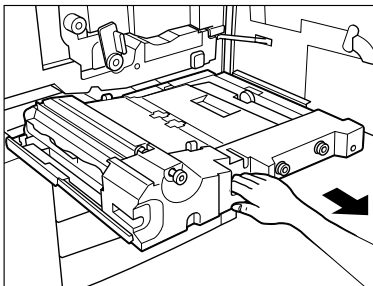
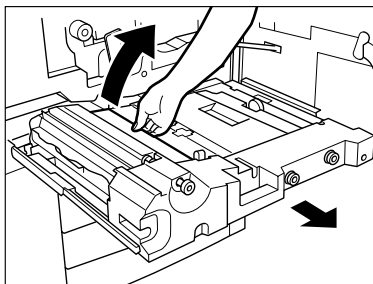
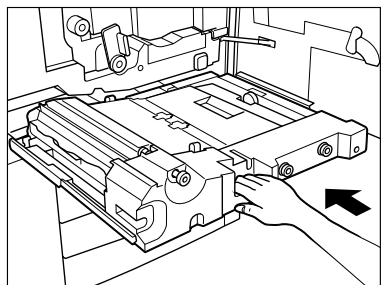
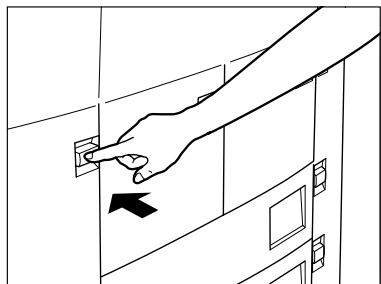
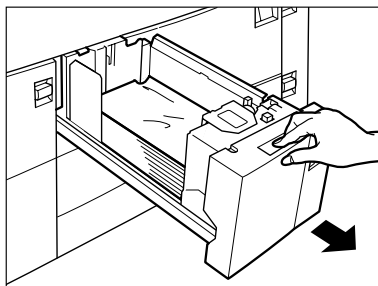
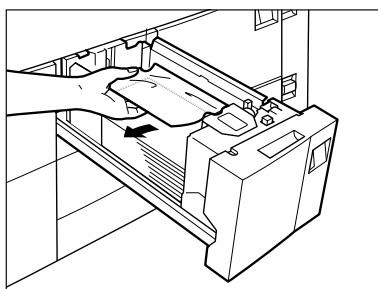
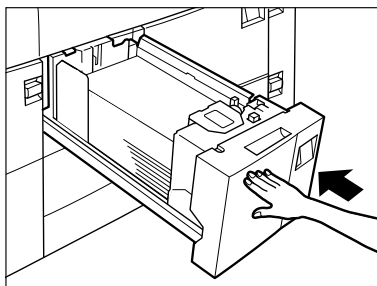
フロントデッキ(右側)内部の紙づまり

フロントデッキ(右側)で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 本体の右カバーを開きます。

2 つまっている用紙を取り出します。

3 画面で指定されたフロントデッキのオープンボタンをフロントデッキが出てくるまで押します。

4 フロントデッキの取っ手を持ち､そのまま止まるところまで手前に引き出します。

5 つまっている用紙を取り除きます。

6 フロントデッキを元に戻します。

▲注意 ○フロントデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

重要 ○画面に紙づまりのメッセージが表示されたままのときがあります。この場合は、表示に従ってもう一度紙づまりの点検を行ってください。

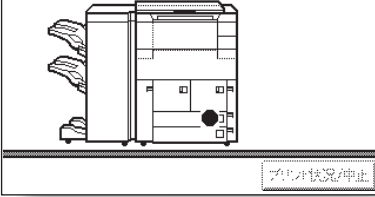
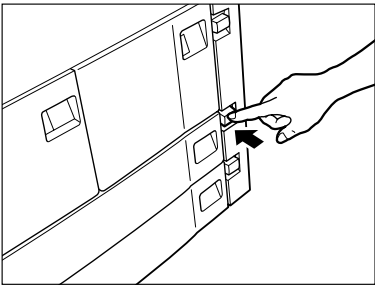
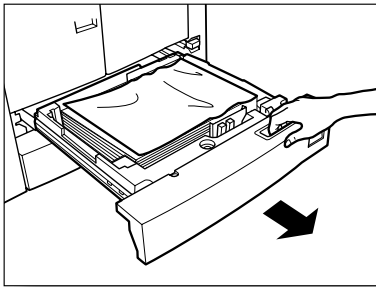
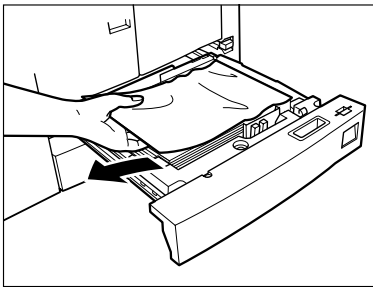
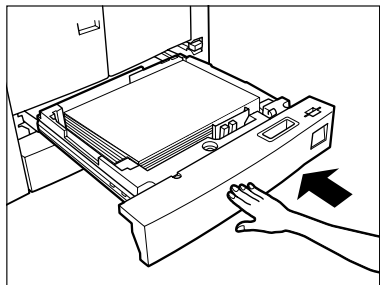
フロントデッキ（左側）内部の紙づまり

フロントデッキ（左側）で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **本体の前カバーを開きます。**

2 **矢印の方向に緑色のつまみを回し、つまっている用紙を両面ユニットに送り出します。**

3 **両面ユニットを引き出します。**

4 **両面ユニットを引き出し、両面ユニット上に残っている用紙を取り除きます。**

5 両面ユニットを元に戻します。

6 画面で指定されたフロントデッキのオープンボタンをフロントデッキが出てくるまで押します。

7 フロントデッキの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。

8 つまっている用紙を取り除きます。

9 フロントデッキを元に戻します。

⚠注意 ○フロントデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 画面の指示に従って操作します。

参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

重要 ○画面に紙づまりのメッセージが表示されたままのときがあります。この場合は、表示に従ってもう一度紙づまりの点検を行ってください。

給紙カセット内部の紙づまり

給紙カセットで紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 画面で指定された給紙カセットのオープンボタンを給紙カセットが出てくるまで押します。

2 給紙カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。

3 つまっている用紙を取り除きます。

4 給紙カセットを元に戻します。

▲注意

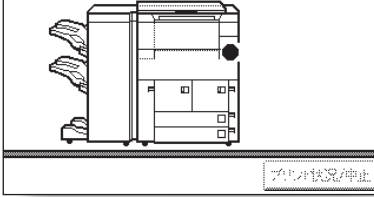
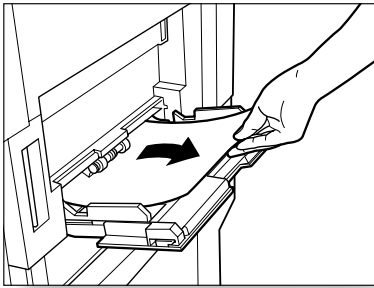
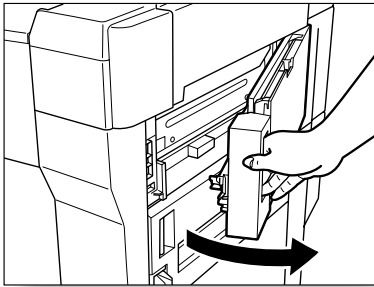
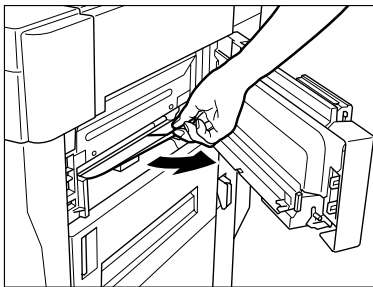
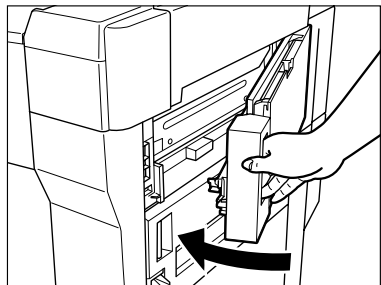
○給紙カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

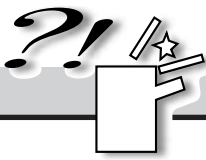
参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

重要

○画面に紙づまりのメッセージが表示されたままのときがあります。この場合は、表示に従ってもう一度紙づまりの点検を行ってください。

手差しトレイ部の紙づまり

手差しトレイ部で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **手差しトレイ上の紙づまりしていない用紙を、いったんすべて取り除きます。**

2 **手差しカバーを開きます。**

3 **つまっている用紙を取り出します。**

4 手差しカバーを閉じます。

5 画面の指示に従って操作します。

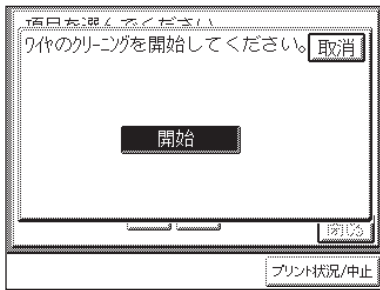
参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

こんなときは清掃する

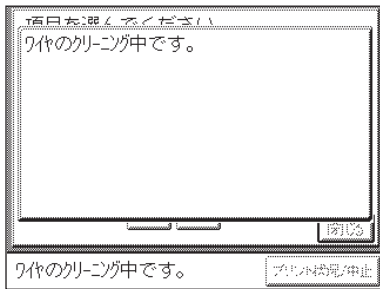
プリントが汚れる（ワイヤのクリーニング）

プリントした用紙に汚れがつくときは、必要に応じて帯電器のワイヤのクリーニングを行います。

●ワイヤのクリーニングは約 30 秒かかります。

1 目的の画面を次の手順で表示させます。

ユーザモード キー → 調整/クリーニング → ワイヤのクリーニング

2 開始 を押します。

●クリーニングをキャンセルするときは、取消 を押します。

●ワイヤのクリーニングが開始された画面

3 クリーニングが終わると、調整／クリーニングの画面に戻ります。閉じる を押します。

この操作を繰り返すと、プリンタ設定画面に戻ります。

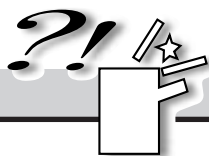
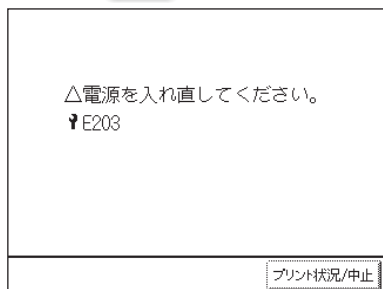
エラーメッセージ一覧

自己診断表示

次のような状態になったとき、自己診断表示が表示されます。
■何らかの操作上の誤りでプリントできないとき。
■プリント動作中にユーザの判断や処理が必要になったとき。
表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。

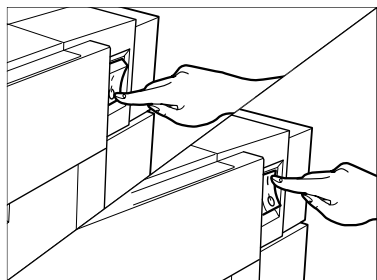
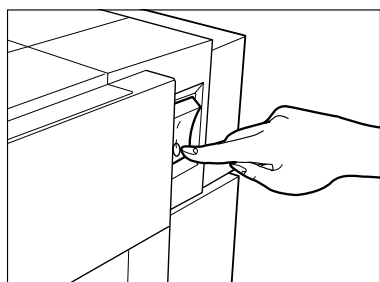
表示と原因	処　置
○○用紙がありません。 **最適サイズのカセットがセットされていません。**	**表示されているサイズの給紙カセットをセットしてください。**
△排紙トレイの紙を取り除いてください。 **トレイの積載制限に達しました。**	**排紙トレイの用紙を取り除いてください。**
●の箇所に用紙がつまりました。 **本機に用紙がつまり、プリントができません。**	**タッチパネルに表示されるイラストに従って紙を取り除いてください。** 参照 **紙づまりが起きたときには：P.6-2**
トナーを補給してください。 **トナー残量が少なくなり、プリントができません。**	**本機専用のトナーカートリッジを交換してください。** 参照 **トナーカートリッジの交換：P.5-10**
○○用紙をセットしてください。 **用紙がなくなり、プリントができません。** **フロントデッキ／給紙カセットが正しくセットされていません。**	**用紙を補給してください。** 参照 **用紙の補給：P.5-2** **フロントデッキ／給紙カセットを奥までセットしてください。** 参照 **用紙の補給：P.5-2**

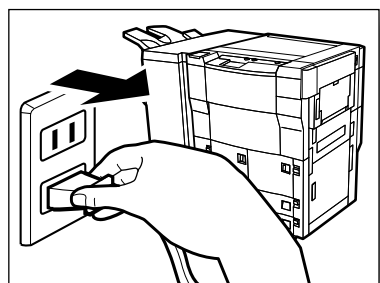
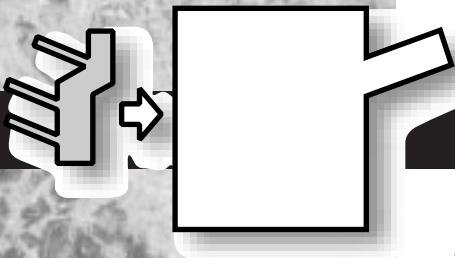
サービスコール表示

△電源を入れ直してください。
E203
プリント状況/中止

機械に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、左のようなサービスコールが表示されます。

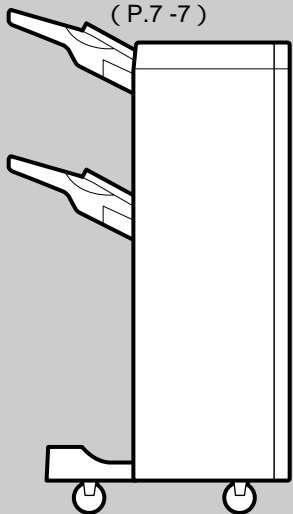
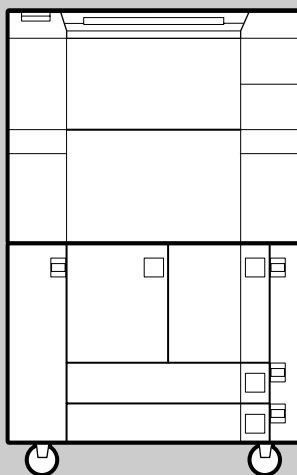
サービスコールが表示されたら、次のように対処してください。

⚠警告　○濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意　○電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

1 **主電源スイッチをいったん切ったあと、10 秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れます。**

2 **それでも正常に作動しない場合は、次のことを行なってから、担当サービスにご連絡ください。**

- **主電源スイッチを切ります。**
- **電源プラグをコンセントから抜きます。**

7章 オプションの取扱について

システムの構成

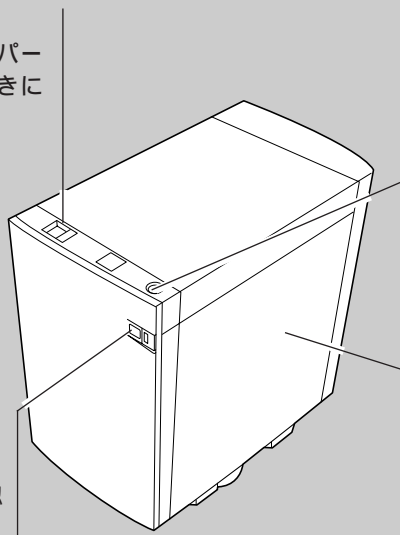
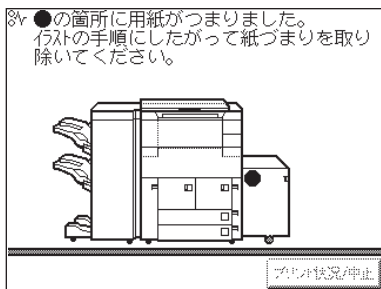
本機には次のようなオプションを接続することができます。

フィニッシャー・D1
（P.7 -7）

本機

サイドペーパーデッキ・C 1
（P.7-3）

サドルフィニッシャー・D2
（詳しくは別冊のサドルフィニッシャー・D2取扱説明書をご覧ください。）

サイドペーパーデッキ・C1

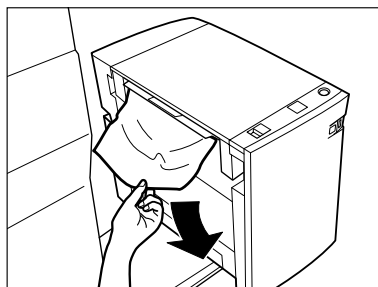
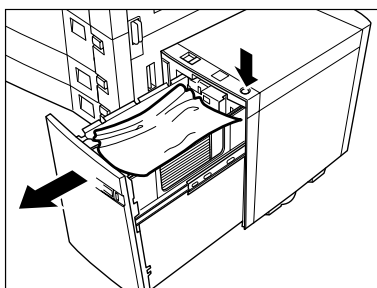
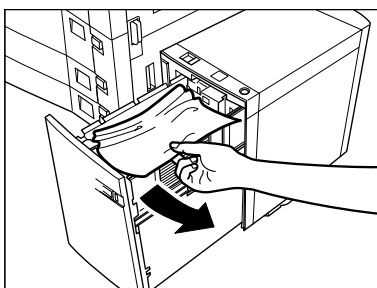
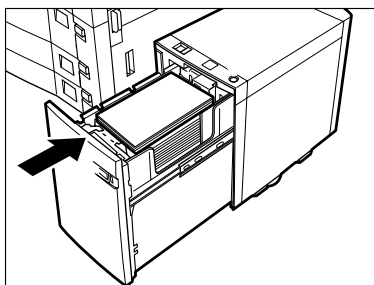
サイドペーパーデッキ・C1を装着すると、本体に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、A4あるいはB5の用紙が追加できます。
■サイドペーパーデッキ・C1には、3500枚まで用紙がセットできます。

各部の名称とはたらき

ペーパーデッキで紙づまりが起きたときには

サイドペーパーデッキ・C1で紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って紙を取り除いてください。

▲注意

- **○紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。**
- **○紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレッドなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。**
- **○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**
- **○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。**

サイドペーパーデッキ・C1

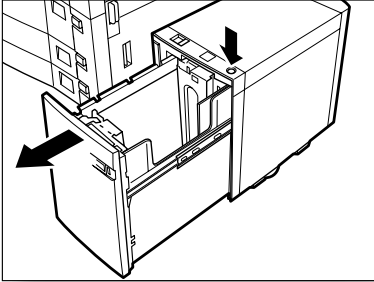
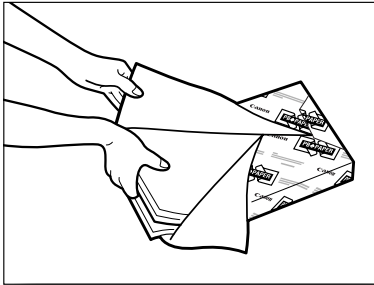
1 リリースレバーを押して、サイドペーパーデッキを本体から引き離します。

2 給紙部につまっている用紙を取り除きます。

3 オープンボタンを押して、ペーパーデッキを開きます。

4 つまっている用紙を取り除きます。

5 ペーパーデッキを閉じて、本体に接続します。

▲注意

○ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

画面の指示に従って操作します。

参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

ペーパーデッキ用紙補給

1 オープンボタンを押して、ペーパーデッキを開きます。

2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

⚠注意

○用紙を補給するときは､用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要

○残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

○次のような用紙は、ペーパーデッキにセットしないでください。紙づまりの原因になります。

紙づまりを起こしやすい紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表紙が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙(裏面も含む)

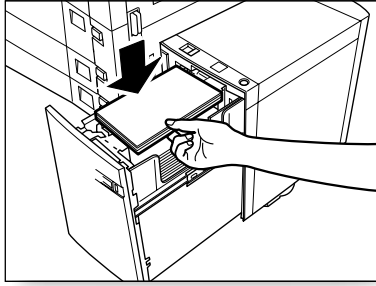
高温によって変質する用紙
- 定着器の熱（約180℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙
- 糊などがついた用紙

プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

トナーが定着しにくい用紙
- ざら紙、和紙のような表面がなめらかでない用紙、繊維のあらい用紙

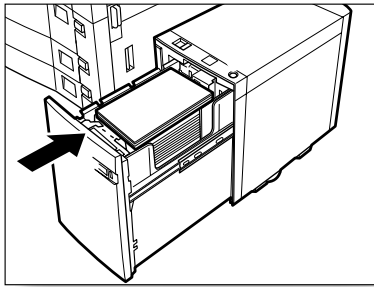
参考

●ペーパーデッキには約3500枚（80g/m²）の用紙がセットできます。

●快適なプリントをしていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をお勧めいたします。

3 **開封した面を上向きにして用紙をセットします。**

○用紙がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
○用紙の高さが積載制限表示（ ）をオーバーしないように注意してください。

ペーパーデッキを閉じて、本体に接続します。

注意

○ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

おもな仕様

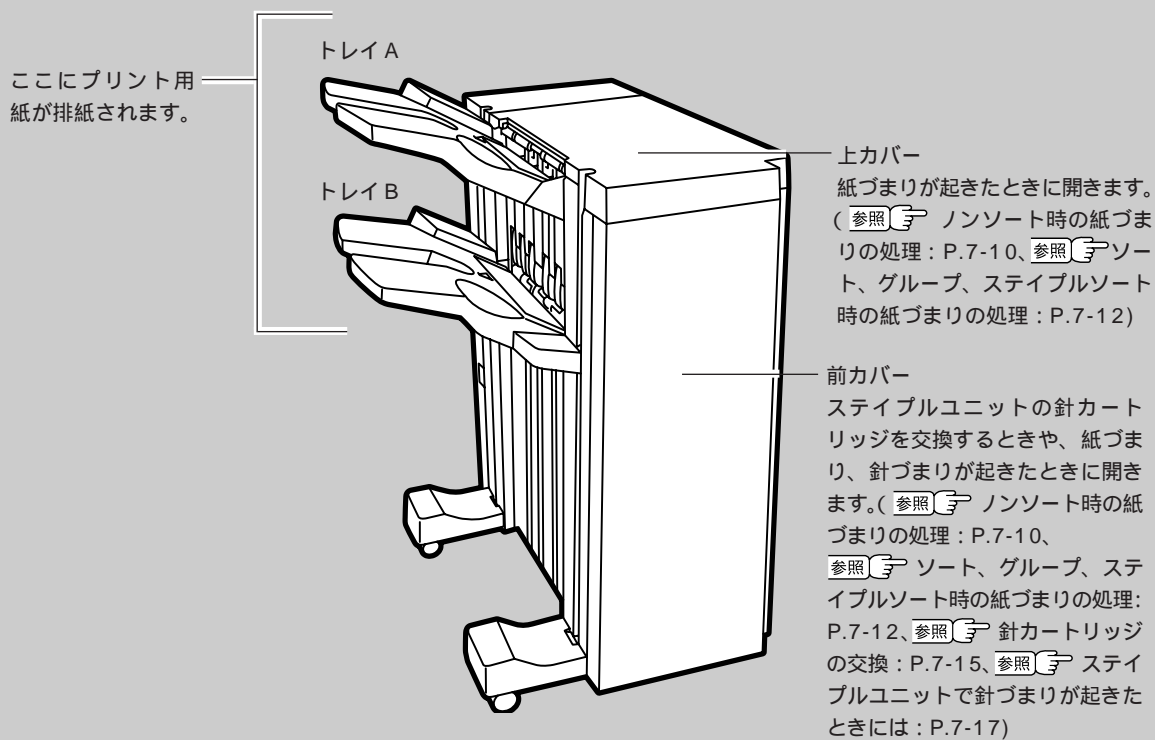
名称	サイドペーパーデッキ・C1
用紙積載枚数	3500枚（80g/m^2）
大きさ	323mm（幅）×583mm（奥行）×519mm（高さ）
質量	約41kg
セットできる用紙	A4、B5 サイズ変更にはサービスマンによる変更作業が必要です。

製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

フィニッシャー・D１

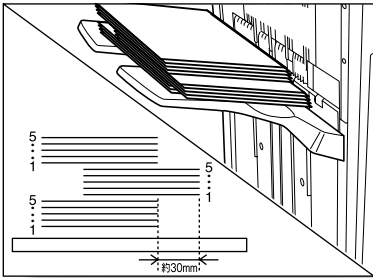
フィニッシャー・D１は以下の機能を備えています。

■用紙を自動的にページぞろえするソート機能
■プリント用紙をページごとに仕分けするグループ機能
■ソートされた用紙を自動的にステイプルでとめるステイプルソート機能

各部の名称とはたらき

ソート機能

プリント用紙を部ごとにずらして、自動的にページぞろえして排紙する機能です。

グループ機能

プリント用紙を、ページごとに仕分けして排紙する機能です。

- ソート機能、グループ機能を設定して、プリントした場合、部ごと（束ごと）に 30mm ずらして排紙します。
- トレイ B に排紙している場合は、プリント用紙排出ごとにトレイ B が降下してゆき、下限位置に達すると、プリント動作は一時停止します。この状態でプリント用紙を取り除くと、その分だけトレイが上昇し、残りのプリントが再開されます。

ステイプルソート機能

部ごとにステイプルでとめて排紙する機能です。

▲注意 **○フィニッシャを装着しているときは、トレイのステイプルされる場所に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。**

参考

- トレイＢに排紙している場合は、プリント用紙束排出ごとにトレイＢが降下していき、下限位置に達するか、排出束の部数が１００を超えた時に、プリント動作は一時停止します。トレイＢにある全ての用紙を取り除くと、残りのプリントが再開されます。
- １束の用紙枚数が５０枚を超えた場合は、ステイプルは行われず、ソート機能のみの動作となります。
- ステイプルの途中でフィニッシャが停止し、メッセージが表示された場合は、針が残り少なくなり針カートリッジの交換が必要となっています。針カートリッジを交換してください。
（参照 針カートリッジの交換：P.7-15）

ステイプルされる箇所は次のようになります。

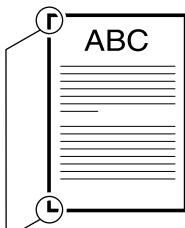
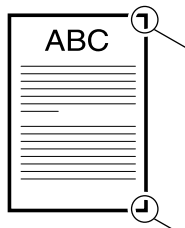
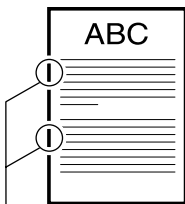
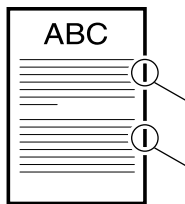
コーナーステイプル

左上、左下

右上、右下

ダブルステイプル

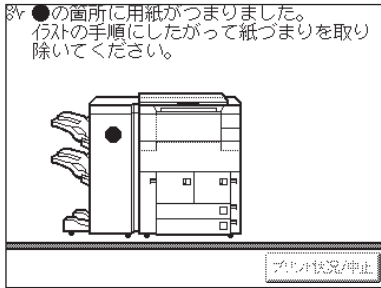
左とじ

右とじ

重要

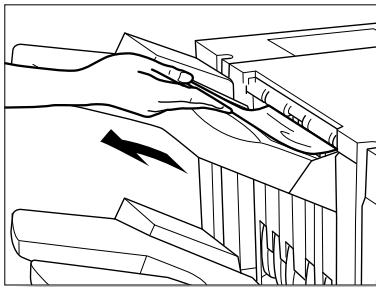
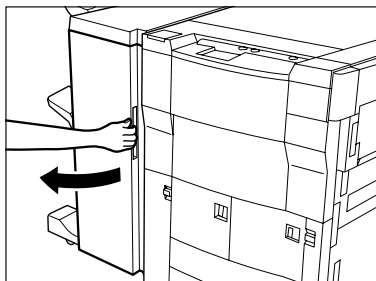
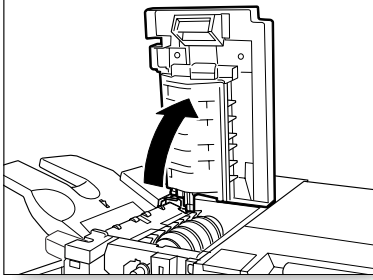
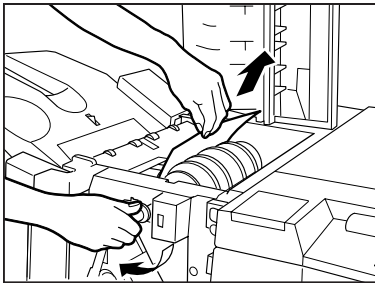
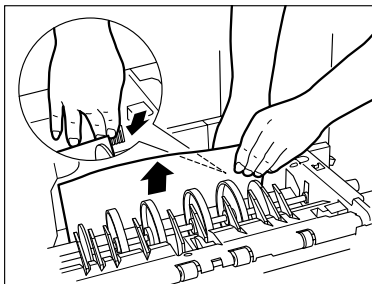
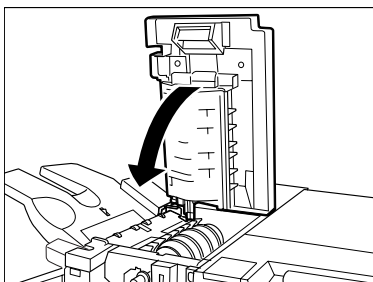
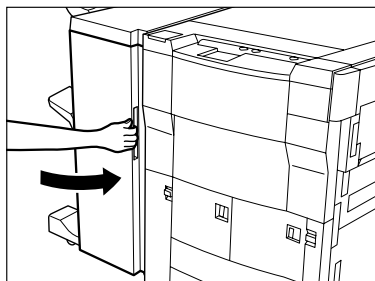
○B５R／A５R の用紙はコーナーステイプルできません。
○A４R／B５R／A５R の用紙はダブルステイプルできません。

参考

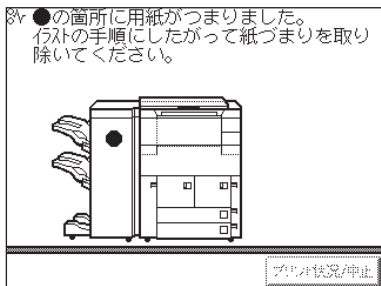
- ダブルステイプルのとじ幅を変更することができます。
（参照 ダブルステイプルのとじ幅を変更する：P.4-17）

ノンソート時の紙づまりの処理

ノンソート時に紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される手順に従って紙を取り除いてください。

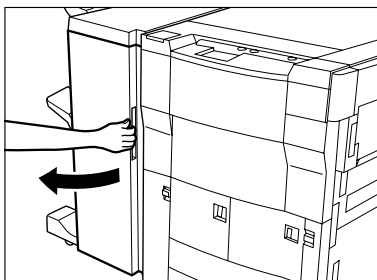
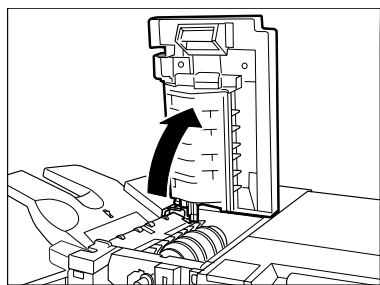
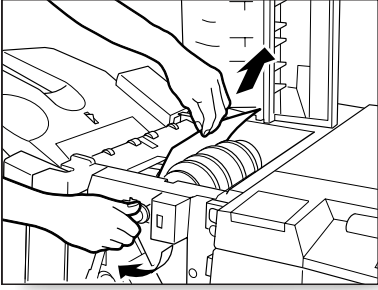
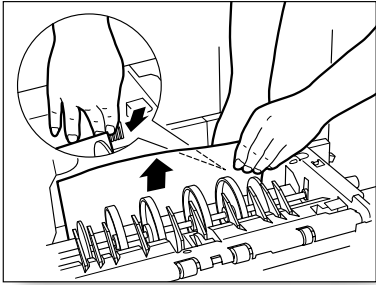
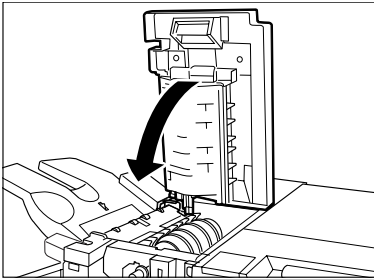
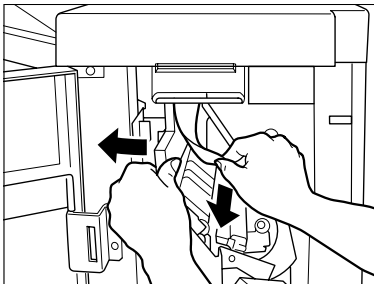
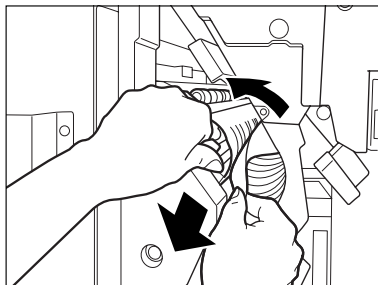
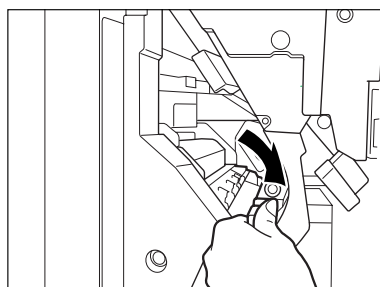
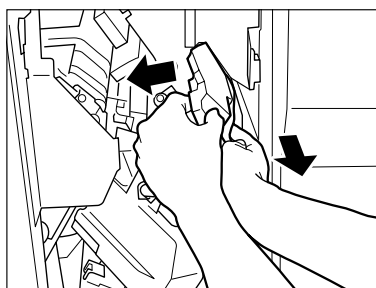
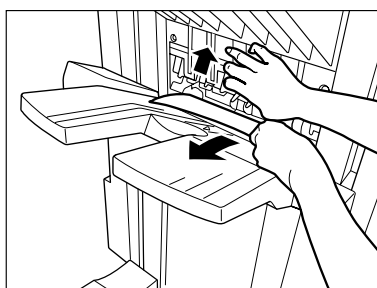
⚠注意

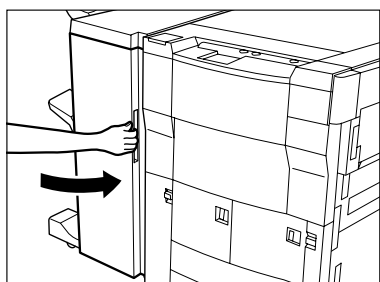
○紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
○紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレッドなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 外側から見えている用紙を取り除きます。

2 フィニッシャの前カバーを開きます。

3 フィニッシャの上カバーを開いて内部を確認します。

4 緑色のつまみを回して、つまっている用紙を取り除きます。

5 緑色のレバーを押して、つまっている用紙を取り除きます。

6 フィニッシャの上カバーを閉じます。

7 フィニッシャの前カバーを閉じます。

参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-2

ソート、グループ、ステイプルソート時の紙づまりの処理

ソート、グループ、ステイプルソート時に紙づまりが起こると、左のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される手順に従って紙を取り除いてください。

⚠注意

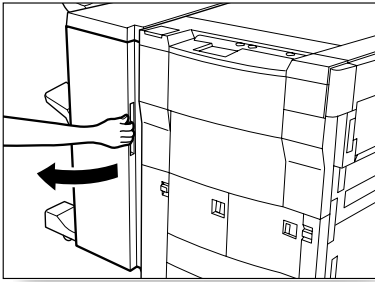
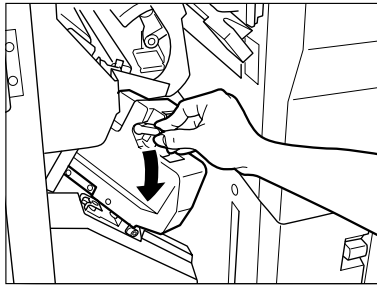
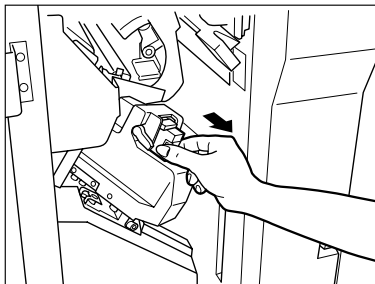
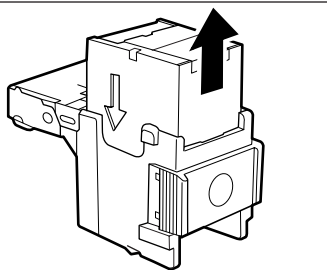
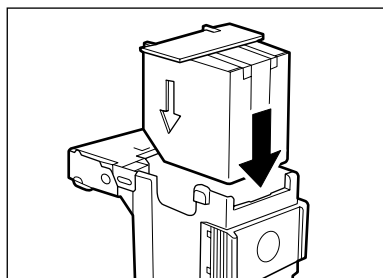
○紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
○紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレッドなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
○紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

2 フィニッシャの上カバーを開いて内部を確認します。

3 緑色のつまみを回して、つまっている用紙を取り除きます。

4 緑色のレバーを押して、つまっている用紙を取り除きます。

5 フィニッシャの上カバーを閉じます。

6 ガイドを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

7 レバーを上げて、つまっている用紙を取り除きます。

8 レバーを元の位置まで戻します。

9 ガイドを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

10 開閉ガイドを開いて、フィニッシャ内部につまっている用紙を取り除きます。

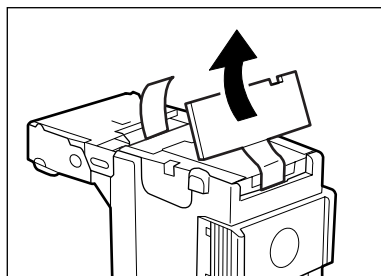
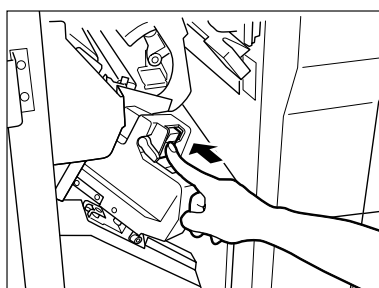
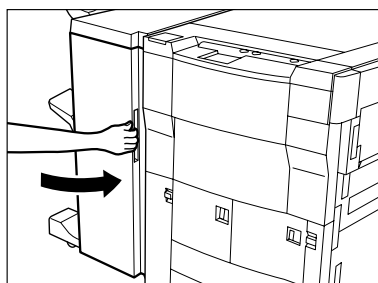
○処理中の用紙束は取り除かないでください。

11 フィニッシャの前カバーを閉じます。

参照 紙づまりの処理方法を示す画面：P.6-4

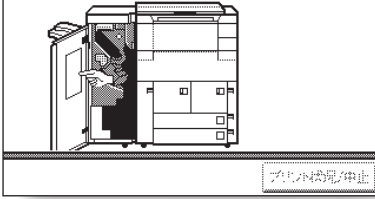
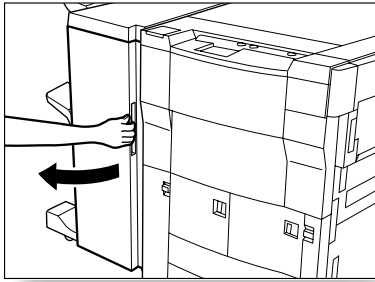
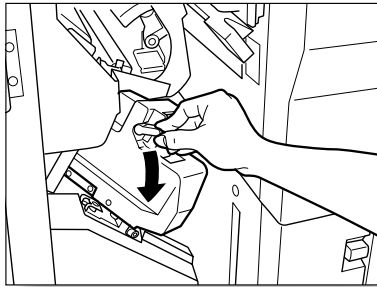
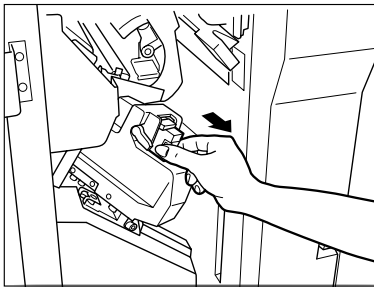
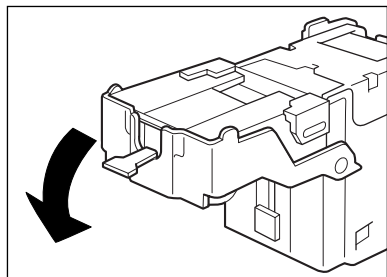
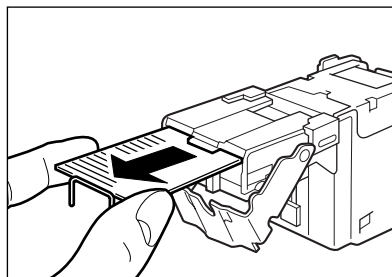
○画面に紙づまりのメッセージが表示されたままのときがあります。この場合は、表示に従ってもう一度紙づまりの点検を行ってください。

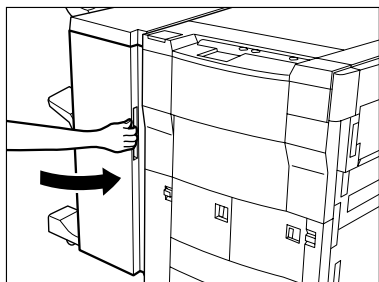
針カートリッジの交換

ステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり針カートリッジの交換が必要になると、左の針カートリッジの交換を促す画面が表示されます。
以下の手順に従って、ステイプルユニットの針カートリッジの交換をしてください。

1 **フィニッシャの前カバーを開きます。**

2 **緑色のレバーを下に倒します。**

3 **少し出てきた針カートリッジの左右をつまんで引き出します。**

4 空になった針ケースの左右をつまんで取り外します。

5 新しい針ケースをセットします。

●一度にセットできる針ケースは１個です。
●針ケースは必ず本機専用のものを使用してください。

6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

7 緑色のレバーが戻るまで針カートリッジを元の位置にしっかり押し込みます。

8 フィニッシャの前カバーを閉じます。

●フィニッシャの前カバーを閉じると、ステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

ステイプルユニットで針づまりが起きたときには

針づまりが起こると、左のような画面が表示されます。次の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

2 緑色のレバーを下に倒します。

3 少し出てきた針カートリッジの左右をつまんで引き出します。

4 針カートリッジのつまみを下げます。

5 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。

6 針カートリッジのつまみを戻します。

7 針カートリッジを元に戻して、フィニッシャの前カバーを閉じます。

●フィニッシャの前カバーを閉じると、ステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

おもな仕様

名称	フィニッシャー・D1
用紙	64～200g/m^2
積載容量	トレイA　A3/B4/A4/A4R/B5/A5R/ハガキ：250枚（80g/m^2） トレイB ［ソート］［グループ］ A4/B5　：285mm（2000枚相当）（80g/m^2） A3/B4　：145mm（1000枚相当）（80g/m^2） ［ステイプルソート］ A4/B5　：100部または、285mm（2000枚相当）（80g/m^2） A3/B4　：100部または、145mm（1000枚相当）（80g/m^2）
最大ステイプル枚数	50枚
ステイプル可能サイズ	コーナーステイプル、ダブルステイプル　A3/B4/A4/B5
最大消費電力	185W
電源	100V 50Hz/60Hz
大きさ	655mm（幅）×708mm（奥行）×995mm（高さ）
本体接続時の占有寸法	1738mm（幅）×795mm（奥行）
質量	約64kg

製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

消耗品

■針ケース

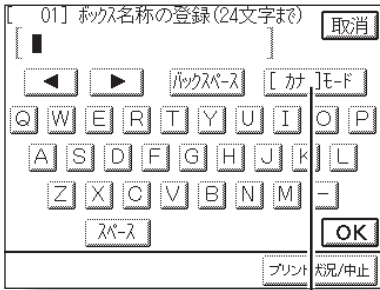
針ケースは、ステイプルユニット専用のものを使用してください。フィニッシャ前カバー内に、針ケースを収納できるスペースがあります。(針ケース 3 個分)
針ケースは、なくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

8章　付録

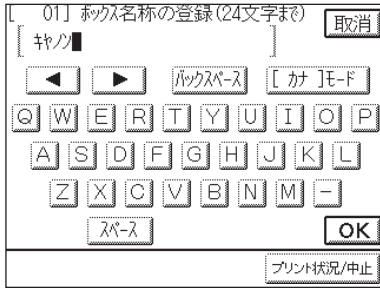
タッチパネルから文字を入力する

名称の入力をうながす画面が表示されたら、次のように文字を入力してください。
文字の入力はタッチパネルに表示されるキーやテンキーを使います。

カタカナを入力する

例：「キヤノン」を入力します。

モードキー

1 モードキーを押して、[カナ] を選択します。

●モードキーを押すたびに、[ ]内の入力モードが切り替わります。

2 ローマ字で「ＫＩＹＡＮＯＮＮ」と入力します。

「キヤノン」と表示されます。

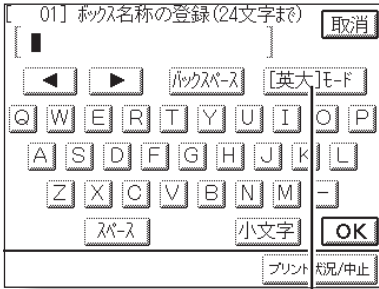
●文字の入力方法はローマ字入力です。
（参照 ローマ字入力表：Ｐ.8-10）
●入力を間違えたときは ［バックスペース］ を押して削除し、正しい文字を入力します。
●Ⓒ(クリア) キーを押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
●アルファベット、記号、漢字、ひらがなを続けて入力するときは、［ＯＫ］ を押す前にモードキーを押して、[ ] 内の入力モードを切り替えて入力します。

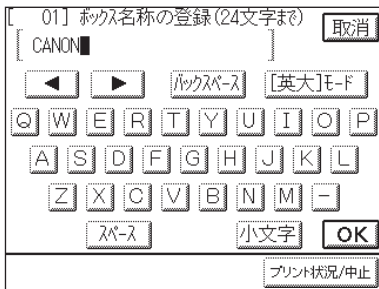
3 すべての文字を入力したあと、［ＯＫ］ を押します。

付録

カタカナを入力する

アルファベットを入力する

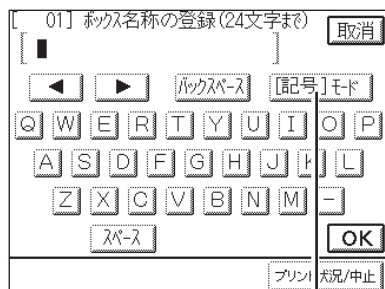
例：「CANON」を入力します。

1 モードキーを押して、[英大] を選択します。

- モードキーを押すたびに、[ ] 内の入力モードが切り替わります。
- 小文字 を押すと、モードが [英小] になり、小文字入力ができます。

2 「CANON」と入力します。

参考

- 入力を間違えたときは バックスペース を押して削除し、正しい文字を入力します。
- Ⓒ(クリア) キーを押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
- カタカナ、記号、漢字、ひらがなを続けて入力するときは、 OK を押す前にモードキーを押して、[ ] 内の入力モードを切り替えて入力します。

3 すべての文字を入力したあと、OK を押します。

記号を入力する

例：「？」を入力します。

1 モードキーを押して、［記号］を選択します。

●モードキーを押すたびに、［　］内の入力モードが切り替わります。

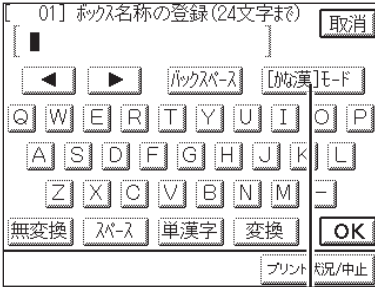
2 ▼ ▲ を押して、目的の記号を表示させます。

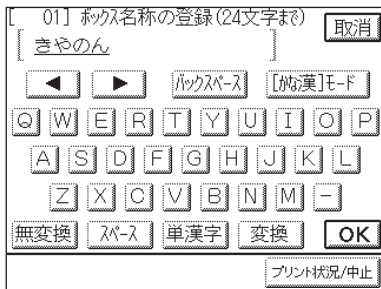
3 タッチパネルで目的の記号の番号を押します。

●入力を間違えたときは、バックスペース を押して削除し、正しい文字を入力します。
●Ⓒ(クリア) キーを押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
●テンキーで目的の記号の番号を押して選択することもできます。
●アルファベット、カタカナ、漢字、ひらがなを続けて入力するときは、ＯＫ を押す前にモードキーを押して、［　］内の入力モードを切り替えて入力します。

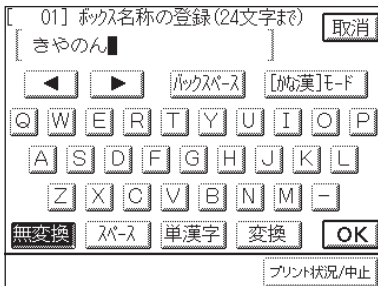
4 すべての文字を入力したあと、ＯＫ を押します。

ひらがなを入力する

例：「きやのん」を入力します。

1 モードキーを押して、[かな漢] を選択します。

参考 ●モードキーを押すたびに、[　] 内の入力モードが切り替わります。

2 ローマ字で「ＫＩＹＡＮＯＮＮ」と入力します。

「きやのん」と表示されます。

参考
- ●文字の入力方法はローマ字入力です。
  （参照 ローマ字入力表：Ｐ.8-10）
- ●入力を間違えたときは、バックスペース を押して削除し、正しい文字を入力します。
- ●ⓒ（クリア）キーを押して､入力した文字をすべて削除することもできます

3 無変換 を押します。

「きやのん」と表示されます。

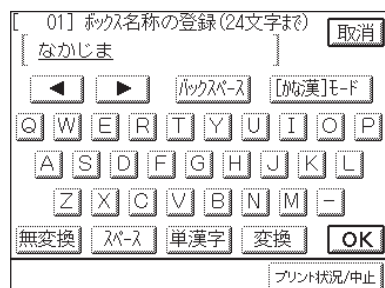
参考 ●アルファベット、記号、カタカナを続けて入力するときは、ＯＫ を押す前にモードキーを押して､[　] 内の入力モードを切り替えて入力します。

4 すべての文字を入力したあと、ＯＫ を押します。

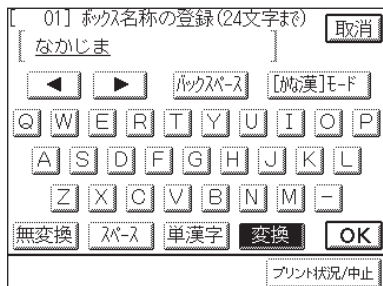
漢字を入力する

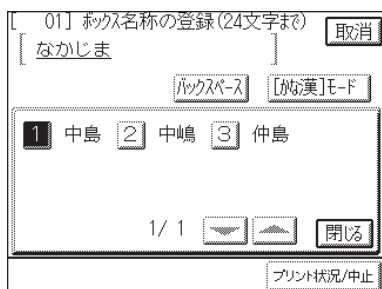
例：「中島」を入力します。

1 モードキーを押して、[かな漢] を選択します。

●モードキーを押すたびに、[ ] 内の入力モードが切り替わります。

2 ローマ字で「NAKAJIMA」と入力します。

「なかじま」と表示されます。

●入力を間違えたときは、[バックスペース] を押して削除し、正しい文字を入力します。
●Ⓒ(クリア)キーを押して、入力した文字をすべて削除することもできます

3 [変換] を押します。

●候補の漢字が一度に表示できないときは、[▼] [▲] の横に1／2、1／3…と表示されます。[▼] [▲] を押して候補の表示に切り替えて目的の漢字を表示してください。

4 タッチパネルで目的の漢字の番号を押します。

手順1の画面に戻ります。

●テンキーで目的の漢字の番号を押して選択することもできます。
● [変換] を押しても正しい漢字に変換できない場合があります。このときは文節区切りを変更してから変換します。(参照 文節の区切りを変更する：P.8-7)
●アルファベット、記号、カタカナを続けて入力するときは、[OK] を押す前にモードキーを押して、[ ] 内の入力モードを切り替えて入力します。

5 すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

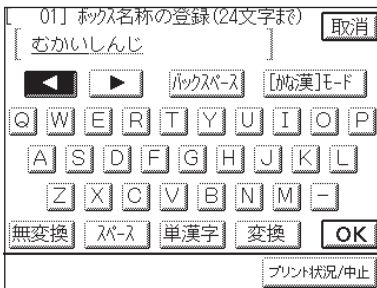
文節の区切りを変更する

例：「向井真二」を入力します。

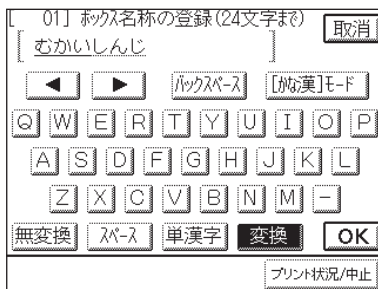
1 モードキーを押して、[かな漢] を選択します。

●モードキーを押すたびに、[　] 内の入力モードが切り替わります。

2 ローマ字で「ＭＵＫＡＩＳＩＮＪＩ」と入力します。

参考
●入力を間違えたときは、バックスペース を押して削除し、正しい文字を入力します。
●Ⓒ（クリア）キーを押して、入力した文字をすべて削除することもできます

3 ◀ ▶ を押して、変換する文節の長さを変更します。

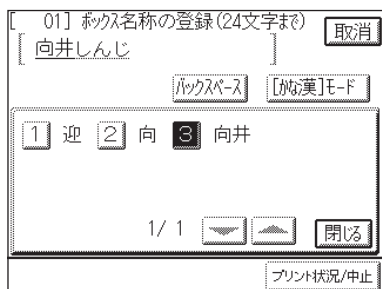
◀ を押すと文節を短く、▶ を押すと文節を長くすることができます。

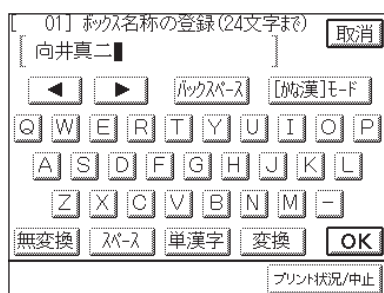
参考
●変換する文節は ー（実線）部分です。

4 変換 を押します。

入力した文字の一部の漢字候補が表示されます。

参考
●候補の漢字が一度に表示できないときは ▼ ▲ の横に１／２、１／３…と表示されます。▼ ▲ を押して候補の表示に切り替えて、目的の漢字を表示してください。
●短い文節を一つの漢字に変換するときは 単漢字 を押して変換してください。

付録

文節の区切りを変更する

5 タッチパネルで目的の漢字の番号を押します。

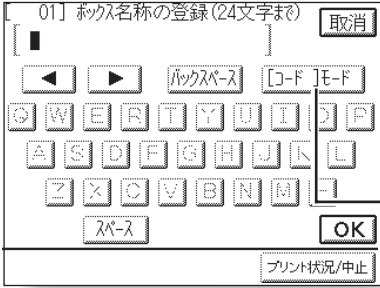
参考 ●テンキーで目的の漢字の番号を押して選択することもできます。

6 手順 3 〜 5 を繰り返し、すべての文字を漢字に変換します。

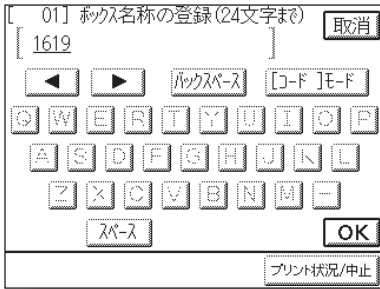
参考 ●アルファベット、記号、カタカナを続けて入力するときは、［ＯＫ］を押す前にモードキーを押して、［ ］内の入力モードを切り替えて入力します。

7 すべての文字を入力したあと、［ＯＫ］を押します。

区点コードを入力する

例：「鯵」を入力します。

参考 ●区点コードについては、ＪＩＳ漢字コード表（ 参照 Ｐ.8-11）を参照してください。

1 モードキーを押して、[コード] を選択します。

参考 ●モードキーを押すたびに、[ ] 内の入力モードが切り替わります。

2 テンキーで区点コード「1619」を入力します。

参考 ●区点コードの調べ方
区点コードはＪＩＳ漢字コード表（Ｐ.8-11）の縦列と横列の数字の和になります。
「鯵」の区点コード：1616+3→1619

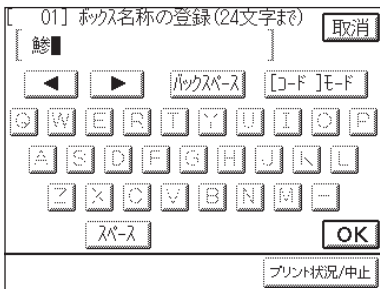
分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1616	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐
	1632	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏

コード表に対応した漢字が表示されます。

参考 ●コード表にない番号を入力すると、「変換できません。」のメッセージが約２秒間表示されます。
●アルファベット、記号、漢字、ひらがな、カタカナを続けて入力するときは、ＯＫ を押す前にモードキーを押して、[ ] 内の入力モードを切り替えて入力します。

3 すべての文字を入力したあと、ＯＫ を押します。

付録

区点コードを入力する

ローマ字入力表

あ	ア	A	は	ハ	HA	が	ガ	GA	ぁ	ァ	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	ぃ	ィ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	ぅ	ゥ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	ぇ	ェ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	ぉ	ォ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	ざ	ザ	ZA	ゃ	ャ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゅ	ュ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	ょ	ョ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO			
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA	っ	ッ	XTU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ぢ	ヂ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	ぴ	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぷ	プ	PU			
ね	ネ	NE	ん	ン	NN	ぺ	ペ	PE			
の	ノ	NO				ぽ	ポ	PO			
							ヴ	VU			

JIS漢字コード表

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	0100			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	0116	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	0132	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	0148	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	0164	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
	0216											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	0232	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀
	0248	∃												∠	⊥	⌒	∂
	0264	∇	≡		≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
	0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯	
	0316	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
	0332		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	0348	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
	0364		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	0380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	0416	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	0432	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	0448	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	0464	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん												
	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	0516	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	0532	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	0548	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	0564	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	0616	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	0716	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	0732	Ю	Я														
	0748		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	0764	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я														

JIS漢字コード表

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	1616	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	1632	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
イ	1648	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	1664	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
ウ	1716	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	1732	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
エ	1748	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	1764	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
オ	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	1816	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
カ	1832	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	1848	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	1864	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	1916	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	1932	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	1948	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	1964	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	2016	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	2032	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	2048	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	2064	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	2116	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	2132	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	2148	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	2164	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
キ	2216	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	2232	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	2248	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	2264	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
ク	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	2316	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
ケ	2332	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	2348	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	2364	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	2416	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	2432	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
コ	2448	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	2464	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	2516	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	2532	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	2548	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	2564	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	2616	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
サ	2632	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	2648	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	2664	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	2716	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	2732	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
シ	2748	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	2764	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	2816	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆

JIS漢字コード表

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
シ	2832	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	2848	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	2864	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	2916	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	2932	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	2948	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	2964	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3016	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3032	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3048	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3064	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3116	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3132	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3148	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
ス	3164	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
セ	3216	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	3232	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	3248	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	3264	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	3316	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
ソ	3332	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	3348	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
	3364	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	3416	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
タ	3432	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
タ	3448	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	3464	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	3516	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	3532	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
チ	3548	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	3564	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	3616	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	3632	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
ツ	3648	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	3664	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
テ	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	3716	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	3732	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
ト	3748	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	3764	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
	3816	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	3832	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	3848	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
ナ	3864	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
ニ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
ネ	3916	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
ノ	3932	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
ハ	3948	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	3964	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	4016	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	4032	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	4048	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇

JIS漢字コード表

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ヒ	4064	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4116	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	4132	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	4148	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
フ	4164	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4216	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
ヘ	4232	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4248	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
ホ	4264	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4316	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4332	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4348	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4364	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
ミ	4416	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
メ	4432	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
モ	4448	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4464	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
ユ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4516	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
ヨ	4532	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4548	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4564	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
ラ	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4616	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4632	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4648	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
ル	4664	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
レ	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
ロ	4716	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4732	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
ワ	4748	椀	湾	碗	腕												

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	4816					亟							仍				
人	4848		佰					儘			俎						
	4880			會													
	4916											兀	兒				
	4964	凰						刎									
刀	4980												劒				
力	5016					匐											
	5048							雙		曼							
口	5180													圄			
囗	5200			國								圷					坏
土	5216									垳			垰				
	5232				埣										塒		
	5248													壗			
	5264					壺											
女	5300					侫											
	5316				娚												
	5348				孑	孕											
	5380					對											
	5400															岻	
山	5416															崗	
	5448							嶽									
	5464		巳								帷						
	5480	幟															
广	5500			廣							廩						
	5516									弩							
	5600													悴			
	5680													戌			
	5700			戡													
手	5748		挾														
	5764															搦	
	5816		擶														
支	5832											敲					
	5848										旛						
日	5880									暘							
	5900										曰						
	5916	朧				朶	杁						杙	杣			
木	5932		杼					枡	枅								
	5948	柞								檜			栩				
	5964		栫			桷						條	梛		檮		桴

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	5980	梵	梠												梺		
	6000										椈	棹					椚
	6016											楮	椹	楴			
	6032	榆							槐	榿	槁						
	6048			榧		榑				榴							
木	6064			樅							榕						
	6080			橇			橦										
	6100					櫃							櫟				櫻
歹	6148								殼						毫		
	6180								泓		泗			沮			
	6216										濤			渕			
	6232										淺						渭
	6248								湫								
水	6264															滕	
	6300								澁					潭			
	6316								澤								
	6332	濱												瀦			
	6348										炬						
火	6380													燧			
	6416										犢						
犬	6432			狢											猴	猯	猩
	6448													獺			
王	6464		珀								珸						
	6480	瑁															
瓦	6516		甕														
田	6532			畭													
	6564															瘤	
	6580		瘻														
	6600				癸		皀										
	6616											盧					
目	6632				眞												
目	6664											礪					
石	6700		磧					礒			礬	礫		祠			
示	6716		祓						齋								
禾	6732	秬		秣													
	6748															竈	
立	6780				竓	竕											
竹	6800			笄		笋			筵	筥		筧			筬		
	6816							箒									

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	6832	篝		簑				籠						簗		篶	
	6848														籟		
竹	6864							粭									
米	6880		粏				糒								紮		
糸	6932											緤					
	6948	縊	縣							縢							
	6980			纈			纏										
	7000															罧	
	7032							翔		翦					耆		
	7048													聚			
肉	7080											脛					
	7148									舳	艀	艙					
舟	7164											芒					
艸	7180	苣										苞					
	7200						茱							茗			莚
	7216	莪		莢				莇			莵					莨	菴
	7232		菫												萢		
	7248	萸			葮												萬
艸	7280						蔘										
	7300		蕁	蕊							薊					藪	
	7332			藺													
虫	7348										蛉	蠣	蚫				
	7364		蛛	蛯		蜆					蜑						
	7380	蜷	蜻												蝮		
	7400						螢		螂								
	7416			螟				蟠					蟷				
	7432												衙				
	7516										觜						
言	7548														諌		
足	7680						跿		踞								
	7716												躬	躰			
車	7748											輯		轆			
	7764															邇	
辶	7780														逹		
	7816					邊	邉										
金	7864														鉈		
金	7880	鉋							鋏					鋺			
	7900						錺			鍜							
	7932							鐺								鑪	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
門	7948														閖	閘	
	7964					閦	閤										
	8016													霄			
	8048						勒		靫				鞁		鞆		
	8080					頸											
頁	8100					颪										餉	
食	8116							餅							饅		
	8132		饒										駛	駝			
髟	8200				鬘	鬚											
魚	8216																鮨
	8232														鰺	鯲	
	8248	鱠										鰔					
鳥	8264													鳰	鴉		
	8280					鶯											
	8300				鵃				鶚	鶉	鶇		鶤				
	8316							鷗									
	8332											麒					麸
	8364										鼓					齊	
	8380																
	8390													槙		瑤	

おもな仕様

名称	キヤノン LASER SHOT LBP-1060
形式	コンソールタイプページプリンタ
感光体	A-Si
プリント方式	電子写真方式（ヒートローラ定着）
プリント速度	60枚/分（A4、横送り、600dpi）
ウォーミングアップ時間	主電源立ち上げ時　5分以下 スリープ状態からの立ち上げ時　5分以下 節電モードからの立ち上げ時 復帰時間なし　0秒 －10％モード　約1分 －25％モード　約1分30秒 －50％モード　約2分30秒
ファーストプリント時間	約5.5秒以下（A4、横送り、600dpi、フロントデッキ（右側）使用）
用紙サイズ	フロントデッキ　A4、B5 （サイズ変更はサービスマンによる変更作業が必要） 最大積載枚数　約1500枚（80g/m^2） カセット給紙　A3、A4、A4R、A5R、B4、B5、B5R 最大積載枚数　約600枚（64g/m^2） 手差しトレイ　幅：　139～297mm 長さ：　182～432mm 最大積載枚数　約50枚（80g/m^2）
プリント用紙	普通紙 （カセット使用時：64g/m^2～200g/m^2、手差しトレイ使用時：64g/m^2～200g/m^2） OHPフィルム*1、第2原図用紙*1、ラベル紙*1、官製ハガキ*1 （*1は手差しトレイ使用時）
排紙方式	フェイスダウン
排紙積載枚数	排紙トレイ　約250枚（80g/m^2）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）	スタンバイ時　最大55dB[A] 動作時　最大78dB[A]
電源	AC 100V±10％（50Hz／60Hz±2Hz）
最大消費電力	1.5kW
大きさ	764mm (幅)×795mm (奥行)×1005mm (高さ)
機械占有寸法	1416mm（幅）×795mm（奥行） （排紙トレイ、手差しトレイをすべて伸ばしたサイズ）
質量	約227kg 以下 （プリンタ本体）

製品改良のため、外観および仕様は、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索　引

目的別索引

あ

か

こ

さ

や

項目別索引

あ

か

さ

た

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

本体に関するお問い合わせ

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット **0570-01-9000**

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。MEDIOの該当番号は 34 です。
（該当番号は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。）
受付時間： 9:00～12:00 13:00～17:00 （土・日・祝祭日を除く）

全国64ケ所の最寄りサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。
尚、携帯電話などをご使用の場合は、043-211-9626をご利用ください。
東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・大宮・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

システムに関するお問い合わせは「MEDIOコールセンター」 0120 FreeDial **0120-099000**
受付時間： 9:00～12:00 13:00～17:00 （土・日・祝祭日を除く）

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区三田3-11-28

FA7-2066-010 0899IS0.4 PRINTED IN JAPAN